

ARY

613/10/1/2008

JICA LIBRARY



1095477(4)

23212

メキシコ教育テレビ研修センター

実施協議調査団報告書

平成3年3月

国際協力事業団

社会開発協力部

本館新刊圖書目錄

一九七九年六月出版



東京大学出版会

東京大学出版会

序 文

メキシコ合衆国では、学校教育を初め幼児教育・成人教育に至るまでテレビ放送を活用することが重要視されているが、番組制作技術が未だ初歩的なために教育効果を十分に発揮できない状況にある。このため、1983年10月、メキシコ合衆国政府は教育番組制作を担当している文部省教育番組制作局に対するプロジェクト方式技術協力を我が国に要請し、その後1986年及び1988年に重ねて協力要請してきた。

これを受けて当事業団は、1989年12月に事前調査団を派遣してメキシコ側要請内容について協議を行うとともに、プロジェクト方式技術協力の基本計画及びプロジェクト実施体制の調査・確認を行った。さらに事前調査の結果を踏まえ、1991年1月に本件協力の詳細な実施計画内容の検討を行うため、3名の長期調査員を現地に派遣した。今回、右検討結果に基づきプロジェクト方式技術協力の実施内容を確定する目的で、1991年3月11日から1991年3月20日にかけて実施協議調査団を現地に派遣した。

本報告書は、今般派遣されたプロジェクト方式技術協力に係わる実施協議調査団の調査・協議結果をとりまとめたものである。

終わりに、本調査団の任にあたられた団長、団員各位及び本調査団派遣に際し、ご協力頂いた外務省、郵政省、在メキシコ大使館並びに内外関係機関の方々に対し、深甚なる謝意を表するとともに、併せて今後のご支援をお願いする次第である。

平成3年3月

国際協力事業団

理事 玉光弘明



協議風景



討議議事録 (R/D) 署名
1991年 3月18日

目 次

序 文
写 真
目 次

1. 実施協議調査団の派遣	1
1-1 調査団派遣の経緯と目的	1
1-2 調査・協議項目	1
1-3 調査団の構成	2
1-4 調査日程及び主要面談者	3
2. 要 約	7
2-1 これまでの経緯	7
2-2 協議の結果	8
2-3 プロジェクトサイトの建設状況	8
2-4 メキシコ側の予算措置状況	8
2-5 カウンターパートの待遇	9
3. 討議議事録の交渉経緯	19
3-1 交渉経緯	19
3-1-1 一般的事項	19
3-1-2 メキシコ側の実施体制	19
3-1-3 日本側の実施体制	20
3-1-4 R/D 案の主な修正点等	21
3-2 討議議事録等	24
3-3 討議議事録等の訳文	34
4. プロジェクト実施上の留意点	43
4-1 実施体制	43
4-1-1 メキシコ側関係機関	43
4-1-2 プロジェクトの組織機構	44

4-1-3	メキシコ側予算措置	45
4-2	プロジェクト協力の基本計画	45
4-2-1	協力基本計画	45
4-2-2	協力期間	45
4-2-3	協力分野	45
4-2-4	協力の目標	45
4-2-5	専門家の派遣	46
4-2-6	供与機材	46
4-2-7	C/P 日本研修	47
4-2-8	教材作成	47
5.	分野別技術移転計画, 訓練計画	49
5-1	技術移転計画	49
5-2	訓練計画	50
5-2-1	研修分野	50
5-2-2	各年度の研修目標と派遣専門家の役割	54
5-2-3	研修コースの年間実施計画	55
6.	1991年度協力計画	61
6-1	専門家派遣	61
6-2	機材供与	61
6-3	研修員受入れ	61
卷末資料 協力第1年度供与機材構成 (案)		63

1. 実施協議調査団の派遣

1-1 調査団派遣の経緯と目的

メキシコ国では、学校教育を初めとして幼児教育、成人教育においてもテレビ放送を活用した教育が非常に重要な役割を果たしている。しかしながら、番組制作技術が未だ初歩的なため教育効果を十分に発揮できない状況にある。このため、メキシコ政府は1983年以降我が国に対しプロジェクト方式技術協力を要請してきた。

その後、1987年 JTEC(財団法人海外通信放送コンサルティング協会) が郵政省の依頼を受けて調査団を現地に派遣、本プロジェクトの協力の必要ありとする報告書を取りまとめた。

上記経緯を踏まえ、当事業団は1989年12月に事前調査団、1991年1月長期調査員チームを現地に派遣し、プロジェクト方式技術協力の詳細な内容の検討を重ねてきた。今回右検討結果に基づきプロジェクト方式技術協力を実施する目的で、1991年3月11日～1991年3月20日の日程で実施協議調査団を現地に派遣した。

1-2 調査・協議項目

(1) 実施体制

- ① メキシコ側関係機関
- ② プロジェクトの組織機構
- ③ メキシコ側予算措置
- ④ プロジェクトサイト、設備

(2) プロジェクト協力の基本計画

- ① 協力基本計画
- ② 協力期間
- ③ 協力分野
- ④ 協力の目標
- ⑤ 専門家派遣
- ⑥ 供与機材
- ⑦ C/P 日本研修
- ⑧ 教材作成

1-3 調査団の構成

区分	氏名	担当業務	所属部課、役職
団長	大蔵 啓	総括	郵政省通信政策局国際協力課 第二国際協力係長
団員	高瀬 賢一	訓練計画	日本放送協会会長室〔企画開発〕国際渉外 副部長
〃	須山 正広	番組制作	日本放送協会番組制作局学校放送プロジェクト チーフディレクター
〃	横井 康和	放送技術	日本放送協会技術局施設業務部
〃	浅津 関雄	協力企画	国際協力事業団社会開発協力部 社会開発協力第二課 職員
〃	福井 美子	通訳	(財)国際協力サービスセンター

1-4 調査日程及び主要面談者

メキシコ教育テレビ研修センター実務協議調査団日程等

日順	月日(曜)	行程	調査内容	面会者	主な協議事項
1	3・11(月)	成田発 バンクーバ経由 メキシコ着	午後 移動(JL011)	望月所長 大井専門家 (全行程同行)	調査団日程につき協議
2	12(火)	メキシコシティ	午前 JICAメキシコ 事務所表敬 文部省表敬(SEP) (望月所長・橋本所員 同行) 午後 教育番組制作局 (UTE) (望月所長・橋本所員 同行) 教育テレビ研修セン ター(CETE)視察 (望月所長・橋本所員 同行) 日本大使館表敬 (橋本所員同行)	望月所長 橋本所員 バルトレット 文部大臣 トレス官房長 サバウ局長 サベドラ 技術部長 ネフタリ 特別制作室長 アルツロー・ マスターコン トロール課長 渡二等書記官	実施協議内容、対処方針につ き説明 メキシコシティ一般概況 事務所対応状況につき説明受 く 挨拶および調査団の目的につ き説明 プロジェクトサイト建設現場 の視察 調査日程につき説明 実施協議準備の団内打ち合わ せ(夕方)
3	13(水)	メキシコシティ	午前～午後 UTE (橋本所員同席)	サベドラ 技術部長 ネフタリ特別 制作室長 アルツロー・ マスターコン トロール課長 ベルダレット ラミレス 研修課長 オラバリア・ ベガ・ポスト プロダクショ ン責任者	R/D案に基づいて実施協議 サバウ局長主催夕食会
4	14(木)	メキシコシティ	午前～午後 UTE (橋本所員同席)	サベドラ 技術局長 ネフタリ 特別制作室長 アルツロー・ マスターコン トロール課長 ベルダレット・ ラミレス 研修課長 オラバリア・ ベガ・ポスト プロダクショ ン責任者	R/D案に基づいて 実施協議(続) 最終R/Dを作成 最終R/D原稿の作成

日順	月日(曜)	行程	調査内容	主要関係者	主な協議事項
5	15(金)	メキシコシティ	午前 JICA事務所 午後 UTEにて最終協議	望月所長 橋本所員 サベドラ 技術部長 ネフタリ 特別制作室長 アルツロー マスターコン トロール課長 バルティダ 研修 コーディネー ター オラバリア ベガ・ポスト プロダクショ ン責任者 望月所長 橋本所員	最終R/D原稿提出説明 協議決定後R/Dの最終案作成(5部) NHK主催夕食会
6	16(土)	国内打合せ			
7	17(日)	国内打合せ			
8	18(月)	メキシコシティ	午前 UTEにてR/D署名 小学校プール開き式典出席 午後 研修コースの年間実施計画及びUTE側予算執行状況	トレス官房長 (立会人) サバウ局長 官房長他「メ」側全関係者出席 望月所長同席 サベドラ 技術部長 ネフタリ 特別制作室長 アルツロー マスターコン トロール課長 ヘスス・ソト スタジオ中継 課長 ベルダレット・ラミレス 研修 課長 バルティダ 研修 コーディネー ター オラバリア ベガ・ポスト プロダクショ ン責任者	

日順	月日(曜)	行程	調査内容	主要面接者	主な協議内容
			JICA事務所 日本大使館	望月所長 橋本所員 公使 渡二等書記官 局長他「メ」側 全関係者 渡二等書記官 望月所長 橋本所員 大井専門家	R/D署名につき最終報告 署名R/Dにつき特約説明 メキシコ教育テレビの現状に つき説明他 団長主催夕食会
9	19(火)	メキシコ発	午前		
10	20(水)	成田着	バンクーバー経由 午後		

2. 要 約

2-1 これまでの経緯

本件プロジェクト設立までの経緯及び今後の若干の予定は、下記の通りである。

1983年 3月	メキシコ国文部省より文化無償案件としてテレビカメラ等の供与の要請を受けた。 その後、在メキシコ大使館とメキシコ側関係機関との協議の結果、機材の供与のほか、専門家派遣、研修員受入れ、放送設備の拡充、等に対する要望もあり、在メキシコ大使館としてはプロ技協が適当であると判断した。
1983年 10月3日	メキシコ外務省より正式要請
1986年 11月27日	メキシコ外務省より再度正式要請
1988年 2月22日	メキシコ外務省より再度正式要請
1989年 2月27日	メキシコ経済技術協力評価調査団の派遣
同 12月	事前調査団の派遣（郵政省、NHK、JICA） プロジェクトサイトをメキシコ側負担で建設する旨確認（ミニッツ記載）
1990年 6月25日	プロジェクトサイトを建設着工 請負業者——CAPFCE
同 7月	プロジェクトサイト建設状況の視察（郵政省、JICA）
同 10月	個別専門家大井氏の派遣
1991年 1月	国内委員会設立（4名） 長期調査チーム（3名）の派遣（1990.01.21—1991.02.16）
同 3月	R/D調査団の派遣（1991.03.11—1991.03.20）
同 4月	技術協力開始協定（5年間）
同 10月	プロジェクトサイト完成予定
同 10月	長期専門家の派遣（リーダー、調整員、専門家）

2-2 協議の結果

実施協議調査団は、1991年3月11日から3月20日までの10日間メキシコ合衆国を訪問し、メキシコ文部省番組制作局（UTE）において、調査団側から提示した討議議事録（RECORD OF DISCUSSIONS：R/D）案につき協議を行った結果、R/D案に若干の修正があったもののほぼ調査団側のラインにて合意し、1991年3月18日午前10時30分日本側大蔵団長とUTEのペドロ・サバウ・ガルシア局長の間でR/Dに署名した。なお、ウィットネスとして、文部省ヘスス・エルナンデス・トーレス官房長も同R/Dに署名した。

実施協議調査団としては、本プロジェクト実施に当たってカウンターパートの配置、建物の完成等引き続き今後のメキシコ側措置の進捗状況を注意深く見守っていく必要はあるものの現時点でその運営に関し、特段支障となる事項は見当たらないものと判断した。また、メキシコ側は、本プロジェクトを是非成功させ、最終的には中米諸国における教育テレビ関係者育成の拠点として本センターを位置付けたいという構想をもっており、本プロジェクトに対する関心の高さと熱意を感じた。

なお、今回の調査の対処方針及び協議結果は表2-1の通りである。

R/D協議を通じて明らかとなった日本側の関心の高かった事項の概要は、2-3～5の通りである。

2-3 プロジェクトサイトの建設状況

昨年（1990年）6月25日、工事に着工して以来、概ね工事線表に沿って建設が進捗しており、本年7月、遅くとも8月末の完成は、ほぼ確実であると思料される。

2-4 メキシコ側の予算措置状況

1991会計年度においてメキシコ文部省は、同研修センターの建設、人件費、維持管理及び我が国からの供与機材の通関等に要する経費約69億5,000万ペソ（約3.5億円）を措置済みである。（建物建設費30億ペソ：約1.5億円）

1992会計年度以降の予算措置計画はまだ具体化されていないが、本プロジェクト実施に支障のないよう予算措置をしていく旨UTE技術部長は明らかにした。

2-5 カウンターパートの待遇

公務員である UTE の職員の給与は、民間テレビ会社の30%から50%止まりという状況である。このため、このままでは、カウンターパートとして配置されても新技術を習得すると民間企業に流出してしまうことが十分に予想された。このため、事前調査団も本プロジェクトの成功のためにカウンターパートの待遇改善が是非とも必要である旨メキシコ側に対し申し入れを行っていた。実施協議調査団もこの点を重視していたが、協議の中で、メキシコ側もカウンターパートがプロジェクトの成功の鍵を握っていることは十分に理解していることが認められ、民間テレビ会社の給与を上回る待遇をもって対処する考えを明らかにした。

表2-1

メキシコ教育テレビ研修センター実施協議調査団対処方針案及び協議結果

調査・協議項目	対 処 方 針	協 議 結 果
<p>1. プロジェクトの目的</p> <p>(1) 技術移転対象者</p> <p>(2) 訓練対象者</p> <p>(3) 目 的</p> <p>(4) 新設訓練コース</p>	<p>(1) UTEの技術系職員とする。C/P資格要件については墨側と協議の上決定以下に案を示す</p> <p>①大卒以上の学歴を持つ者</p> <p>②当該分野における実務経験が3年以上の者</p> <p>③40歳以下の者</p> <p>④センターの教官として継続して服務する者。</p> <p>(2) 訓練対象者</p> <p>①UTEの技術系職員</p> <p>②メキシコ全国の公共放送機関の番組制作要員</p> <p>(3) 目 的</p> <p>UTEの教育番組制作に従事する技術系職員に教育番組制作に係わる理論的かつ実践的な技術移転を実施することにより</p> <p>①UTEの教育番組制作に従事する技術系職員の教育番組制作技術の向上</p> <p>②その他の同国国内の教育テレビ番組制作機関の技術系職員の教育番組制作技術の向上</p> <p>を図り、もって同国の教育水準の向上に寄与する。</p> <p>(4) 新設訓練コース</p> <p>事前調査及び長期調査の結果を踏まえて以下の10項目につき先方と協議を実施し再確認する。</p> <p>①テレビカメラ技術 ⑥機 器 の 保 守</p> <p>②照 明 技 術 ⑦番組制作(基礎)</p> <p>③映像及びVTR技術 ⑧番組制作(上級)</p> <p>④音 声 技 術 ⑨その他の特別研修</p> <p>⑤録音(カセット)及び編集 ⑩実 習</p>	<p>(1) UTEの技術系職員とする。C/P資格要件については墨側と協議の上、以下の通りR/Dに記載。</p> <p>①大卒もしくは大卒同等の能力を有するもの</p> <p>②当該分野における実務経験が少なくとも3年以上の者</p> <p>③40歳未満の者</p> <p>④十分な英語の能力がある者。</p> <p>(2) 訓練対象者</p> <p>①UTEの技術及び制作要員</p> <p>②メキシコ全国の番組制作機関の技術及び制作要員</p> <p>(3) 目 的</p> <p>UTE及びその他のメキシコの番組制作機関の技術及び制作のスタッフに対する理論的かつ実践的な訓練を提供し、もって同国の教育番組の制作及び放送の発展に資する。(マスタープランに記載)</p> <p>(4) 新設訓練コース</p> <p>協議の結果、左記の10項目につき技術協力を行う。(マスタープランに記載)</p>
<p>2. 協力計画の決定</p> <p>(1) 協力分野</p>	<p>(1) 1. (4)の新設コースを協力分野(項目)とする。</p> <p>一般的には協力分野として①番組制作、②制作技術の2つに集約されてしま</p> <p>う。</p>	<p>(1) 同 左</p>

調査・協議項目	対 処 方 針	協 議 結 果
<p>(2) プロジェクト実施計画 ① T S I</p> <p>② M / P ③ 技術移転計画 (C / P) ④ 訓練計画 (訓練生)</p> <p>(3) 協力期間</p> <p>(4) 専門家派遣計画 ① 長期専門家派遣</p> <p>② 短期専門家派遣</p> <p>(5) 研修員受入れ</p> <p>(6) 機材供与</p> <p>(7) 教材作成</p> <p>(8) Aフォームの取り付け</p>	<p>(2) 国内委員会で合意した内容を先方に提示する 5年間のプロジェクト実施計画 1) 技術移転計画 2) 訓練コース実施計画 3) 専門家派遣〃 4) C / P 研修〃 5) 機材供与〃 6) 教材作成〃 7) センター長、C / P、サポータースタッフの配置</p> <p>② 技術協力の内容、目標 (項目、数量化された目標) ③ 技術移転計画 (項目ごとの技術移転実施スケジュール) ④ 5年間の訓練計画 (案) (3コース×15名×5年=225名)</p> <p>(3) 91.04.01-96.03.31 の5年間とする。</p> <p>(4) 長期専門家の派遣計画 (案) ① 長期専門家派遣計画 ・リーダー 1名 ・調整員 1名 合計 5名 ・各分野の専門家 3名 合計 5名 現在個別派遣中の大井雅雄専門家については4月1日をもってプロジェクト派遣専門家に身分を切り替える。同氏以外の長期専門家の派遣については、機材供与に先行すべく、本年10月とする。 なお、機材供与の金額も大きいことから調整員は J I C A 職員とする。</p> <p>② 短期専門家派遣計画 毎年度の短期専門家派遣計画については、JOINT COMMITTEE 及び調査団派遣時に協議の上決定する。日本側案については、国内委員会が作成する ※短期専門家派遣の対象となる項目 カメラ、照明、音声、美術、化粧、アナウンサー/他</p> <p>(5) 研修員受入れ計画 (案) (5年分) について協議・決定する。具体的な人数については、毎年度 JOINT COMMITTEE 及び調査団派遣時に協議の上、決定されることを先方に説明する。</p> <p>(6) R / D 調査団派遣に先立ち、国内委員会で供与機材計画作成を行い、右計画をメキシコ側に提示・協議した上で決定する。</p> <p>(7) 教材作成は原則としてメキシコ側負担であることを説明。(R/D に記載)</p> <p>(8) A 1 ~ 4 の取り付けについてメキシコ側にスケジュールを提示</p>	<p>(2) ① T S I は、R / D 図表 II に記載 1) T S I を R / D 図表 II に記載 2) " " 3) 以下の (4) の通り 4) " (5) " 5) " (6) " 6) " (7) " 7) R / D 付表 IV に記載</p> <p>② 上記 1 の (4) の通り ③ 技術移転計画 (C / P) ④ 訓練計画 (訓練生)</p> <p>(3) 同 左</p> <p>(4) ① 同 左 ただし、リーダー、調整員の人選は91年 7月頃までに決定する事とする。</p> <p>② 同 左</p> <p>(5) 同 左</p> <p>(6) 同 左</p> <p>(7) 同 左 (8) 同 左</p>

調査・協議項目	対 処 方 針	協 議 結 果
<p>3. メキシコ側に申入れる事項 (1) 建 物</p> <p>(2) 技術協力に関する説明</p> <p>(3) 技術協りに共通の相手国側 が取るべき措置 (技協協定, R/D条項) -- R/Dに記載すべきもの</p>	<p>(1) ・事前調査団では、機材供与に先立って必要となるプロジェクトサイト建設がメキシコ側により完成されることを協力開始の条件とした。 ・長期調査実施(91/1)時点では、建物完成時期は91/8頃となる見込である。 ・メキシコ側は既に6,000 百万ペソ(約 337百万円)を右建物建設に投入。 (90/5 @1US\$=2,814P=158 円) ・①上記メキシコ側投入状況、②建物完成時期、③機材調達に係る期間等を勘案し、円滑なプロジェクトの実施等の観点から判断して、上記技協開始の条件に拘らず91.04.01に技協開始を行うことは妥当である。 ・但し、スタジオ建設はメキシコ側にとっても初めてのことであるので、今後も国内委員会を通じ日本側から適宜アドバイスを与えて行く事とし、必要に応じ建築の専門家を派遣する。</p> <p>(2) 技術協力に関する説明 ①専門家派遣 } R/D及び技協協定の内容を説明。十分な理解を求める。 ②機材供与 } ③研修員受入 }</p> <p>(3) 技術協りに共通の相手国側が取るべき措置(括弧内はR/D 条項) 技協協定No. V-a ①土地、建物、及び附帯設備の提供 (III-2) V-b ②カウンターパート及び事務職員の役務の提供(III-1) V-c ③専門家に関わる通勤費、国内公用出張旅費・滞在費、公用通信費 V-d ④日本人専門家及び家族に適切な家具付住居施設 V-e ⑤ " 無料の医療上の便宜 VI-(1)⑥ " に海外から送金される給与、手当に関する所得税、課徴金 " ⑦日本人専門家及び家族のにつき次のものの輸入に関し輸入許可証及び為替証明の取得要件、ならびに領事手数料、関税、租税その他類似の課徴金を免除すること。 日本人専門家及び家族の携帯荷物、見回り品、家財、消費材及び自動車 VIII-2 ⑧供与機材の関税、国内税その他の課徴金 VIII-3 ⑨供与機材の国内輸送、据付け、操作、維持に必要な経費 無し ⑩JICAの供与機材以外の機材について(機械、装置、器具、車両、補充部品その他の調達・取り替え・据え付け・移転)の費用の提供 (III-3) 無し ⑪当該プロジェクトの実施に必要なすべての運営費 (III-4) 無し ⑫教材作成費 (III-5)</p>	<p>3. メキシコ側に申入れる事項 (1) 建 物</p> <p>(2) 技術協力に関する説明 ①専門家派遣 } R/D及び技協協定の内容を説明し、十分な理解を求めた。 ②機材供与 } ③研修員受入 }</p> <p>(3) 技術協りに共通の相手国側が取るべき措置</p> <p>①R/D上に、技協協定を引用した表現を使用。 ② " " ③技協協定の専門家派遣に関わる条項を適用。R/Dには記載せず。 ④ " " ⑤ " " ⑥ " " ⑦ " " ⑧技協協定の供与機材に関わる条項を適用。 R/Dには記載せず。 ⑨ " " ⑩技協協定に規定がないところ、R/Dにより規定した。 ⑪ " " ⑫ " "</p>

調査・協議項目	対 処 方 針	協 議 結 果
(4) プロジェクトの組織 (5) 教材開発	(4) プロジェクトの組織を新たに設立し、責任体制を明らかにする ①全責任 : 文部省次官 ②運営管理面の責任 : UTE局長 ③各分野の実施上の責任 : 確認の上決定 ④C/P長の責任 : // ⑤リーダーの責任 : R/Dの条項の説明 ⑥専門家の役割 : R/Dの条項の説明 (直接訓練生に教えることは原則的には不可) (5) 教材開発はメキシコ側負担で行なう事とし、日本人専門家の役割は、教材委員会を通じ、教材開発に当たって必要となるアドバイスを与える事とする。	(4) プロジェクトの組織を新たに設立し、責任体制を明らかにする ①全責任 : 文部省官房長官 ②運営管理面の責任 : UTE局長及びUTE局長監督下のセンター長 ③各分野の実施上の責任 : 各分野のC/P ④C/P長の責任 : 規定せず ⑤リーダーの責任 : R/Dの条項に記載 ⑥専門家の役割 : R/Dの条項に記載 (5) 教材開発 メキシコ側負担 (R/D記載)
4. 91年度協力計画 (1) 専門家派遣 (2) 機材供与 (3) 研修員受入 (4) ローカルコスト	5名の長期専門家派遣 (内1名は個別派遣専門家からプロジェクト専門家への切替えとする) 91年度は350百万円相当の機材供与とする。 (メキシコ側には金額は一切言及しない事とする。) 3-5名とする。 (91年度は今般の研修事業部の予算逼迫により5名受け入れは困難) ローカルコストはメキシコ側が負担しえないものについてのみ認める。 (メキシコ側には金額は一切言及しない事とする。)	(1) 専門家派遣 同 左 (2) 機材供与 同 左 (3) 研修員受入 同 左 (91年度は3名とする) (4) ローカルコスト 同 左

3. 討議議事録の交渉経緯

3-1 交渉経緯

3月12日、一連の表敬を終了後、文部省番組制作局（UTE）において協議参加者の顔あわせが行われ、その場で、調査団側からR/Dの日本側案を提示しこれに基づいて協議を実施したい旨表明し、翌日からの円滑な協議の実施に配意した。

協議は、日本側のR/D案の各条項について逐一日本側の提案趣旨を説明しながら確認する方法により進めた。

3-1-1 一般的事項

(1) R/Dは英文で作成することで3月12日及び13日の両日にわたり確認したところであるが、3月18日のR/D署名直前に、西文も作る必要がある旨先方から要望が出された。しかし、西文でのR/D作成時間及び英文と照合する時間的余裕がなかったことから、英文を正文とすることで先方の了解が取れたので、西文のR/Dは、UTE側で作成し、後日、署名することとなった。

先方は、協力期間の最終年において「第三国研修」を実施したい旨表明があったが、協力期間中は技術移転の期間であることから日本国政府が実施している「第三国研修」に対する協力はあり得ないことを表明した。なお、メキシコ政府が自らの責任において実施する場合は、日本国政府は、これに干渉するものではないが、本プロ技協の円滑な実施に支障を与えないよう、日本人専門家とその実施につき協議するように表明した。

3-1-2 メキシコ側の実施体制

(1) プロジェクトサイトの整備状況

本件のプロジェクト方式技術協力は、先方が新たに建設する教育テレビ研修センター（CETE）で実施することが条件となっていたことから、この建物建設の進捗状況に最大の関心が寄せられていた。平成元年（1989年）12月に派遣された事前調査団に対して、メキシコ側は、1990年4月から建設に着工し、工事期間は8カ月を予定している旨表明していた。建物の建設は、予定より2カ月遅れの1990年6月25日に着工され、工事予定線表通り工事が進捗し、本年（1991年）7月、遅くとも8月末の完成はほぼ確実であることが確認された。

(2) 予算措置状況

メキシコ側は、本プロジェクトに関連する予算措置として1991会計年度において、建物建設費30億ペソ（約1.5億円）の他、人件費、我が国からの供与機材の通関等の費用及び維持管理に要する経費として39億9,000万ペソ（約2億円）を確保済みであること、また、1992年度以降の予算措置については、具体的な計画については、これから検討したいとしながらも本プロジェクトの実施に支障の生じないように配慮したい旨表明した。

(3) カウンターパートの定着問題

ラテンアメリカの一般的傾向として、新技術を習得すると待遇面でより有利な民間企業に流出し易い。この状態の容認は、本プロジェクトによる技術移転の定着に大きな障害となる。特に、メキシコの場合、公務員である UTE 職員の給与は、民間放送局（テレビサ）の1/2から1/3程度である。したがって、平成元年12月に派遣された事前調査団も待遇面の改善につき直接文部省エルナンデス・トーレス官房長に申し入れをしているところであった。

今般の先方との協議では、C/Pの待遇改善については特段の配慮することに理解を示し、前出の民間テレビ会社テレビサより20から25%多い給与をもって待遇改善を考慮する考えを表明した。

(4) カウンターパートの配置

先方は、日本人専門家1名につき2名のカウンターパートの配置を確約した。しかしながら、カウンターパートの人材に関しては、新たに雇用する人材も含まれる予定であることから、日本人専門家の赴任までに配置を完了するよう申し入れ、先方はこれを了解した。

3-1-3 日本側の実施体制

(1) 専門家の派遣

長期専門家の派遣に関しては、計5名の専門家の派遣を予定していることを先方に明確に伝えた。また、大井専門家を除く4名の専門家は、本年10月を目標として派遣する旨表明した。

(2) 機材供与

① 先方は、本年12月末までに機材の設置を希望したが、調査団側としては、日本の予算制度及び JICA の機材調達システムを説明し、希望の時期までに訓練用機材の全てを立ち上げることは、物理的に不可能であることを表明し、理解を求めた。

調査団としては、製造期間の長い機材に関しては、本年度第四半期に発送できるよう最善の努力をする旨表明し、また、製造期間の短い機材に関しては、順次発送できるように極力配慮することを表明した。

調査団側としては、先方が、ほぼ予定通り建物建設していることに対して、本プロジェクトに対する熱意の現れと評価しており、建物の完成予定時期7月ないし8月以降、機材が導入されるまでの期間を可能な限り短縮すべく機材調達関係部門に協力を要請するとともに、先方に対して、日本側の機材調達の進捗状況を定期的に報告するなどの措置を講じるよう併せて要請したい。また、メキシコ側に対しては、1992年度当初から計画されている研修コースの実施に極力影響を与えないよう努力することを日本側関係機関に伝えることを約束した。

② OB-Van の要求については、長期調査時でも話題になった通り、今回の調査団に対しても強い要望があったが、調査団は、日本として予算的に対応不可能であることを明確に先方に伝えた。先方は、当初 OB-Van の必要性につき調査団に対して説得したが、最終的には、日本の状況が良くなったら検討願いたいとのことで決着し今回の調査団に対しては要請しないことで先方は理解した。

(3) カウンターパートの日本研修

本年度のカウンターパートの日本研修については、3名の集団研修への参加は可能であるが、個別研修に関しては、受入れ先の状況を考慮する必要があることから、調査団帰国後、至急検討し、先方に連絡することとした。

(4) 教材作成

R/D では、メキシコ政府が措置すべき事項としてIII-5 "OTHER EXPENSES" において、教材準備に必要な経費を記載している。しかし、現時点では、どのような教材が必要となるか検討されていない状況であることから専門家派遣の10月までに、必要となる教材（テープ媒体を含む）につき、国内委員会と先方との間で検討を進める必要がある。

(5) その他

本年6月ないし7月を目途として建築関係及び教材作成に関する打合せのために長期調査をする必要があるかにつき国内委員会において検討を進める必要がある。

3-1-4 R/D 案の主な修正点等

(1) 研修の対象者

日本側案では、“technical staff”としていたが、これでは番組制作に従事する関係者が含まれていると理解できないことから“technical and production staff”と明記した。

(2) 大井専門家の身分

現在派遣中の個別派遣専門家大井雅雄専門家に関しては、4月1日をもってプロ技協

の専門家に切り換えることとすること。また、同専門家のC/Pについては、研修センターの完成までに配置するように要望し、先方はこれを約束した。

(3) チーフアドバイザー

専門分野を有する者を派遣可能か日本側で決定していないが、専門分野を有していたとしてもチーフアドバイザーのためのC/Pの配置は必要ない旨調査団は表明し、必要に応じて他の日本人専門家を通じ、或いは、他の日本人専門家のC/Pに対して直接指導することがあることを表明し了解を得た。

(4) カウンターパートの配置

日本人専門家1名につき2名のC/Pを配置することを先方は約束した。大井専門家を除く日本人専門家は、本年10月を目標として派遣することを先方に伝え、それまでにC/Pの配置を完了するように要望し、先方はこれを了解した。

(5) 供与機材のサイトでの据付け作業

調査団は、供与機材のサイトでの据付け作業の際、ケーブル配線、機器据付け等のため補助要員、または、作業員の雇用につきメキシコ側の負担により実施する必要性が生じる可能性があることを説明し了解を得た。

また、日本人専門家が、機材の円滑な作業のためにUTE側に対し、或いは、日本人技術者に対して必要な支援を実施することを先方に伝えた。

(但し、日本人専門家に機材据付けに関する責任の一部を負わせる意味ではないことも併せて先方に伝えた。)

(6) カウンターパートの資格要件

カウンターパートの資格要件については、メキシコの通常の定年が50~55歳であることから本プロ技協の終了後においてもその知識を十分発揮させる期間を考慮する必要があることから40歳以下と限定すること、専門知識に関しては、大学卒業ないし同等の技術力を有すること、技術移転の容易性を確保する観点から英語の能力を有すること及び実務経験が3年以上であることを先方と合意したのでR/DのAnnex IVにおいて明記した。

(7) 事務/管理要員

“secretary, clerical worker”の言語能力に関しては、日本側案では英語/西語もしくは英語/日本語を要求したが、先方は、日本語のできる人材の雇用経費が高いことを理由に英語/西語としたい旨表明された。これに対して、調査団としては日本語の能力を要求することは必要条件でないと認められることから英語/西語とすることで合意した。

(8) 技術協力協定関係

メキシコ側の執るべき措置のうち、技術協力協定第5条(a)~(e)のうち(b)の通訳及び(c)~(e)に関しては、先方が難色を示したので、各省会議での対処方針に沿って適用しないものと理解することで先方と合意した。

(9) 合同委員会の設置

本プロ技協を円滑に推進させ初期の目的を達成するために、合同委員会の設置が必要であることを説明し先方は理解した。議長としては、文部省官房長（UTE局長が代行可能）とし、官房長が合同委員会を欠席した場合は、UTE局長が後日官房長に会議の様様につき説明する[R/D付表V-2(2)の注(2)]ことで双方合意した。

THE RECORD OF DISCUSSIONS
BETWEEN THE JAPANESE IMPLEMENTATION SURVEY TEAM
AND THE AUTHORITIES CONCERNED
OF THE GOVERNMENT OF THE UNITED MEXICAN STATES
ON THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION
FOR THE EDUCATIONAL TELEVISION TRAINING CENTER

The Japanese Implementation Survey Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Akira Okura visited the United Mexican States from March 11th, 1991 to March 19th, 1991, in order to work out the details of a technical cooperation program concerning the Project of the Educational Television Training Center (hereinafter referred to as "the Project").

During its stay in the United Mexican States, the Team exchanged views and had a series of discussions with the Mexican authorities concerned in respect of desirable measures to be taken by both Governments for successful implementation of the Project.

As a result of the discussions and in accordance with the provisions of the Agreement on Technical Cooperation between the Government of Japan and the United Mexican States signed in Tokyo on December 2nd, 1986 and came into force on December 24th, 1987 (hereinafter referred to as "the Agreement"), both parties agreed to recommend to their respective Governments the matters referred to in the document attached hereto.

Mexico City, March 18th, 1991

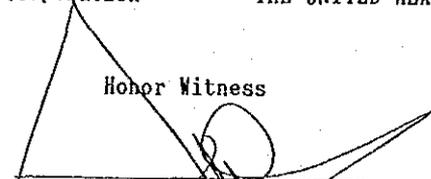
大 蔵 啓



Mr. AKIRA OKURA
Leader,
Implementation Survey Team
Japan International Cooperation
Agency, JAPAN

Ing. PEDRO SABAU GARCIA
Director General,
Unidad de Televisión Educativa
THE UNITED MEXICAN STATES

Honor Witness



Lic. JESUS HERNANDEZ TORRES
Official Mayor,
Ministry of Public Education
THE UNITED MEXICAN STATES

THE ATTACHED DOCUMENT

I. COOPERATION BETWEEN BOTH GOVERNMENTS

1. The Government of Japan and the Government of the United Mexican States will cooperate with each other in implementing the Project for the purpose of providing the theoretical and practical training to the Mexican technical and production staff of la Unidad de Televisión Educativa (hereinafter referred to as "U T E") and other Mexican television organizations and thus contribute to the development of educational television production and broadcasting in the United Mexican States.
2. The Project will be implemented in accordance with the Master Plan which is given in Annex I.

II. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF JAPAN

In accordance with the laws and regulations in force in Japan, and the provision of Article III of the Agreement, the Government of Japan will take, at its own expense, the following measures through JICA according to the normal procedure of its technical cooperation scheme:

1. DISPATCH OF JAPANESE EXPERTS

The Government of Japan will dispatch the Japanese experts as listed in Annex II under the provision of Articles V-(a),(b), VI, and VII of the Agreement.

2. PROVISION OF MACHINERY AND EQUIPMENT

The Government of Japan will take necessary measures through JICA to provide equipment and other materials (hereinafter referred to as "the Equipment") necessary for the implementation of the Project as listed in Annex III under the provision of Article VIII of the Agreement.

3. TRAINING OF MEXICAN COUNTERPART PERSONNEL IN JAPAN

(1) In accordance with the provision of Article III-(a) of the Agreement, the Government of Japan will accept the Mexican counterpart personnel connected with the Project for technical training in Japan.

(2) The Government of the United Mexican States will take necessary measures to ensure that the knowledge and experience acquired by

the Mexican counterpart personnel through technical training in Japan will be utilized effectively for the implementation of the Project.

III. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF THE UNITED MEXICAN STATES

In accordance with the laws and regulations in force in the United Mexican States, the Government of the United Mexican States will take, at its own expense, the following measures:

1. MEXICAN COUNTERPART AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL

(1) In accordance with the provision of Article V-(b) of the Agreement, the Government of the United Mexican States will take necessary measures to secure the necessary services of Mexican counterpart and administrative personnel as listed in Annex IV.

(2) The Government of the United Mexican States will assign, duly in time, the necessary number of suitably qualified personnel corresponding to each Japanese expert to be dispatched by the Government of Japan as specified in Annex II for effective and successful transfer of technology under the Project.

(3) Upon the employment of the Mexican counterpart personnel referred to in (2) above, the Government of the United Mexican States will provide them with the sufficient wages and services according to their abilities.

2. PROVISION OF LAND, BUILDINGS AND FACILITIES

In accordance with the provision of Article V-(a) of the Agreement, the Government of the United Mexican States will provide such land, buildings and facilities as stated in Annex VI.

3. SUPPLY OR REPLACEMENT OF EQUIPMENT AND MACHINERY

Supply or replacement of machinery, equipment, instruments, vehicles, tools, spare parts and any other materials necessary for the implementation of the Project other than the Equipment referred to in II-2 above.

4. ALL RUNNING EXPENSES

All running expenses necessary for the implementation of the Project.

5. OTHER EXPENSES

Expenses necessary for provision of textbooks.

IV. ADMINISTRATION OF THE PROJECT

1. The Official Mayor of the Ministry of Public Education of the United Mexican States will bear overall responsibility for the implementation of the Project.
2. The Director General of UTE, as the Head of the Project, will be responsible for administrative and managerial matters of the Project.
3. The Director of the Educational Television Training Center will be responsible for administrative and managerial matters of the Project, under the command of the Director General of UTE.
4. Mexican counterpart personnel in respective fields and administrative personnel will be directly responsible for technical and administrative matters in each field of the Project.
5. The Chief Advisor will provide necessary recommendations and advice on technical and administrative matters concerning the implementation of the Project to the Head of the Project.
6. Japanese experts will give necessary technical guidance and advice to the Mexican counterpart personnel on matters pertaining to the implementation of the Project.
7. For effective and successful implementation of the Project, a Joint Committee will be established with the function and composition as referred to in Annex V.

V. CLAIMS AGAINST JAPANESE EXPERTS

The Government of the United Mexican States undertakes to bear claims, if any arises, against the Japanese experts engaged in the Project resulting from, occurring in the course of, or otherwise connected with the discharge of their official functions in the United Mexican States, except for those arising from willful misconduct or gross negligence by the Japanese experts.

VI. MUTUAL CONSULTATION

In accordance with the provision of Article X of the Agreement there will be mutual consultation between the two Governments on any major issues arising from or in connection with this Attached Document.

VII. TERM OF COOPERATION

The duration of technical cooperation for the Project under this Attached Document will be five (5) years from April 1st, 1991 to March 31st, 1996.

- Annex I MASTER PLAN
II JAPANESE EXPERTS
III THE EQUIPMENT
IV MEXICAN COUNTERPART AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL
V JOINT COMMITTEE
VI LAND, BUILDINGS AND FACILITIES

- Chart I ORGANIZATION CHART OF THE PROJECT
II TENTATIVE SCHEDULE OF IMPLEMENTATION (TSI)

A n n e x

I . MASTER PLAN

1. Objective of the Project

The objective of the Project is to provide the theoretical and practical training to the Mexican technical and production staff of UTE and other Mexican television organizations and thus to contribute to the development of educational television production and broadcasting in the United Mexican States.

2. Role of Japanese Technical Cooperation

(1) The role of Japanese technical cooperation shall be to provide technical advice to Mexican counterpart personnel of UTE who is exclusively engaged in the Project for the purpose of training Mexican technical and production staff who is in charge of educational television production.

(2) The scope of technical guidance for Mexican counterpart personnel is as follows.

- ① TV Camera
- ② Lighting
- ③ Video and VTR Engineering
- ④ Audio Engineering
- ⑤ Post-Production and Editing
- ⑥ Maintenance of Equipment
- ⑦ Program Production (Basic)
- ⑧ Program Production (Advanced)
- ⑨ Other Special Training
- ⑩ Practical Training

II . JAPANESE EXPERTS

1. Chief Advisor

2. Coordinator

3. Experts in the fields of:

- (1) Program Production
- (2) Production Engineering
- (3) Production Engineering (Facility)

4. Short-term expert

Note: Short-term experts will be dispatched as necessary for the smooth implementation of the Project.

III. THE EQUIPMENT

1. Studio facilities (Video, Audio, Lighting)
2. Editing facilities (Post-production, Editing)
3. Equipment for EFP(Electronic Field Production)
4. Other necessary machinery and materials to be mutually agreed upon

IV. MEXICAN COUNTERPART AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL

1. Head of the Project (Director General of UTE)
2. Director of the Educational Television Training Center
3. Counterpart personnel in the fields of:

- (1) Program Production
- (2) Production Engineering
- (3) Production Engineering (Facility)

Qualifications of counterpart personnel:

- (1) Age - less than forty(40) years old
- (2) College or university graduates, or equivalents
- (3) Practical experience of at least three(3) years in the respective fields
- (4) Sufficient command of spoken and written English

4. Administrative personnel

- (1) Administration
- (2) Accounting
- (3) Secretary for Chief Advisor (bilingual in Spanish and English)
- (4) Clerical worker for Japanese experts (bilingual in Spanish and English)
- (5) Drivers for official use
- (6) Other necessary supporting staff

V. JOINT COMMITTEE

1. Functions

Joint Committee will meet at least once a year and whenever the necessity arises, and work:

- (1) To formulate the Annual Work Plan of the Project in line with the Tentative Schedule of Implementation formulated under the framework of this Record of Discussions;
- (2) To review the overall progress of the technical cooperation program as well as the achievements of the above-mentioned Annual Work Plan;
- (3) To review and exchange views on major issues arising from or in connection with the technical cooperation program.

2. Composition

- (1) Chairman ; Official Mayor of the Ministry of Public Education (Director General of UTE can act for the Chairman.)

(2) Members

(a) Mexican side:

- (i) Director General of UTE
- (ii) Director of the Educational Television Training Center
- (iii) Counterpart personnel in respective fields of technical cooperation

(b) Japanese side:

- (i) Chief Advisor
- (ii) Coordinator
- (iii) Other Japanese experts
- (iv) Personnel concerned to be dispatched by JICA, if necessary
- (v) Resident Representative of JICA Mexico Office

Note: 1. Officials of the Embassy of Japan may attend the Joint Committee as observers.

2. In the event of the Chairman's absence, Director General of UTE (acting Chairman) shall report to the Chairman.

VI. LAND, BUILDINGS AND FACILITIES

1. Land, buildings and facilities necessary for the Project.
2. Rooms and spaces necessary for installation and storage of the Equipment.
3. Office space and necessary facilities for the Chief Advisor and other Japanese experts.
4. Other facilities mutually agreed upon as necessary.

Chart I

ORGANIZATION CHART OF THE PROJECT

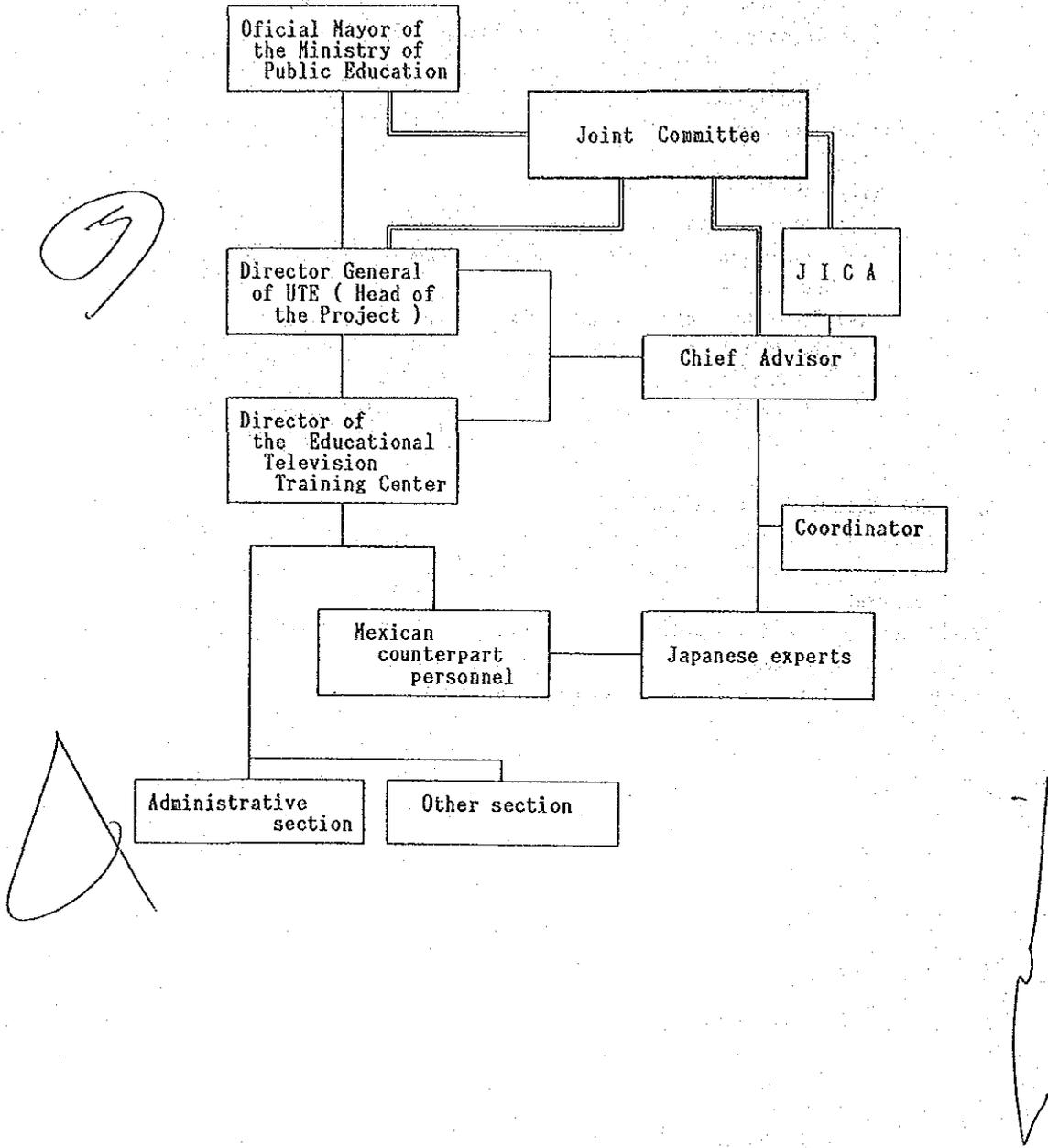


Chart II

TENTATIVE SCHEDULE OF IMPLEMENTATION (T S I)

I t e m	1991	1992	1993	1994	1995	1996
Term of Technical Cooperation 5 years	April R/D					March
8 Dispatch of Japanese Experts 1. Long-Term Experts (1) Chief Advisor (2) Coordinator (3) Experts in the Fields of: a) Program Production b) Production Engineering c) Production Engineering (Facility) 2. Short-Term Experts	October					
			(As necessary)			
Provision of the Equipment for the Project	-----	-----	-----	-----	-----	-----
Training of Mexican Counterpart Personnel in Japan	-----	-----	-----	-----	-----	-----
Services of Mexican Personnel 1. Director General of UTE 2. Director of the Educational Television Training Center 3. Counterpart Personnel (1) Program Production (2) Production Engineering (3) Production Engineering (Facility) 4. Administrative Personnel (1) Administration (2) Accounting (3) Secretary (4) Clerical worker (5) Drivers (6) Others	-----	-----	-----	-----	-----	-----

NOTE: The Tentative Schedule of Implementation is subject to change within the framework of the Record of Discussions.

-v-

3-3 討議議事録等の訳文

(仮訳)

メキシコ教育テレビ研修センターのための技術協力に係わる 日本側実施協議調査団とメキシコ合衆国政府関係機関との間の討議議事録

国際協力事業団（以下「JICA」という。）が組織し大蔵啓氏を団長とする日本側実施協議調査団（以下「調査団」という。）は、教育テレビ研修センター（以下「プロジェクト」という。）に関わる技術協力の詳細について協議するために、1991年3月11日から1991年3月19日の日程をもってメキシコ合衆国を訪問した。

メキシコ合衆国訪問中、調査団はプロジェクトの効果的な実施のために両国政府によって取られるべき措置についての意見交換及び一連の協議をメキシコ側関係機関と行った。

協議の結果及び1986年12月2日に東京で署名され、1987年12月24日に発効した日本国政府とメキシコ合衆国政府との間の技術協力に係わる協定（以下「技協協定」という。）の条項に基づき、双方は以下の事項につき両国政府に勧告することで合意した。

メキシコシティ、1991年3月18日

大蔵 啓
実施協議調査団団長
国際協力事業団
日本

Ing. フロ サバウ ガルシア
(文部省)
教育番組制作局局長
メキシコ合衆国

立会人
Lic. アス エルナンデス トーレス
文部省官房長官
メキシコ合衆国

付 属 文 書

I. 両国政府の協力

1. 日本国政府とメキシコ合衆国政府は、教育番組制作局（以下UTEという）及びその他のメキシコの番組制作機関の技術及び制作のスタッフに対する理論的かつ実践的な訓練を提供することを目的とするプロジェクトの実施に関し協力を行い、もって同国の教育番組の制作及び放送の発展に資する。

2. プロジェクトは付表 I に示されるマスタープランに基づき実施される事とする。

II. 日本国政府が取るべき措置

日本国内において施行されている法律・規則及び技協協定の第 3 条に従い、日本国政府は自己の負担において技術協力の通常の手続きに基づき、JICA を通じ次の措置を取る：

1. 日本人専門家の派遣

日本国政府は技協協定の第 5 条の (a), (b) , 第 6 条, 及び第 7 条に基づき付表 II に示される日本人専門家を派遣する。

2. 機材供与

日本国政府は技協協定の第 8 条に基づき、JICA を通じて付表 III に掲げる当該プロジェクトの実施に必要な資機材（以下「供与機材」という。）を供与するために必要な措置を取る。

3. メキシコ側カウンターパートの日本研修

(1) 技協協定の第 3 条の (a) に基づき、日本国政府はプロジェクトに関係するメキシコ側カウンターパートを日本での技術研修を行うために受け入れる。

(2) メキシコ合衆国政府は、日本での技術研修を通じてメキシコ側カウンターパートが習得した知識、経験をプロジェクトの実施のために効果的に利用されることを保証する。

III. メキシコ合衆国政府が取るべき措置

メキシコ国内において施行されている法律・規則に従い、メキシコ合衆国政府は自己の負担において次の措置を取る：

1. メキシコ側カウンターパート及び管理要員

(1) メキシコ合衆国政府は、技協協定の第5条の(b)に基づき、付表IVに示されるメキシコ側カウンターパート及び管理要員の役務を確保するのに必要な措置を取る。

(2) メキシコ合衆国政府は、プロジェクトにおける効果的かつ円滑な技術移転のために付表IIに示される日本国政府によって派遣された日本人専門家の各々に対応した必要な人数の適格な資格を持つ人材を配置する。

(3) メキシコ合衆国政府は、上記(2)のメキシコ側カウンターパートの雇用に当たり、彼等の能力に応じて十分な賃金及び役務を提供する。

2. 土地、建物、施設の提供

メキシコ合衆国政府は、技協協定の第5条の(a)に基づき、付表VIに示される土地、建物、施設を提供する。

3. 資機材の供給または取り替え

上記II-2の供与機材以外でプロジェクトの実施に必要な機械、装置、器具、車両、工具、補充部品及びその他の物品の調達もしくは取り替え。

4. すべての運営費

当該プロジェクトの実施に必要なすべての運営費。

5. その他の費用

教材作成に必要な経費。

IV. プロジェクトの管理

1. メキシコ合衆国文部省官房長官は、当該プロジェクトの実施上のすべての責任を負う。
2. プロジェクトの長たる U T E の局長は、当該プロジェクトの運営管理面の責任を負う。
3. 教育テレビ研修センター長は、U T E の局長の管轄下で当該プロジェクトの運営管理面の責任を負う。
4. それぞれの分野におけるメキシコ側カウンターパート及び管理要員は、それぞれの分野における技術面、管理面の直接の責任を負う。
5. チーフアドバイザーは当該プロジェクトの長に対し、プロジェクト実施に関連する技術面、管理面の必要な指導・助言を与える。
6. 日本人専門家は当該プロジェクトの実施に関連する事項について、メキシコ側カウンターパートに対し必要な技術的指導・助言を与える。
7. プロジェクトの効果的、円滑な実施のために付表 V に掲げる機能と構成により合同委員会が設置される。

V. 日本人専門家に対する請求（クレーム）

メキシコ合衆国政府は、日本人専門家のメキシコ合衆国内における職務の遂行に起因し、または、その遂行中に、または、その遂行に関連して発生する日本人専門家に対するクレームが発生した場合には、そのクレームに関する責任を負う。ただし、日本人専門家の故意、または重大な過失により生ずる責任についてはこの限りではない。

VI. 相互協議

両国政府は、技協協定の第 10 条に基づき、本付属文書から生ずる、あるいは本付属文書に関連する主要事項について相互協議を行う。

VII. 協力期間

本付属文書に基づく当該プロジェクトの技術協力の期間は 1991 年 4 月 1 日から 1996 年 3 月 31 日までの 5 年間とする。

付表 I. マスタープラン

- II. 日本人専門家
- III. 供与機材
- IV. メキシコ側カウンターパート及び管理要員
- V. JOINT COMMITTEE
- VI. 土地、建物、施設

図表 I. プロジェクトの組織図

- II. 暫定実施計画 (T S I)

付 表

I. マスタープラン

1. プロジェクトの目的

プロジェクトの目的は、U T E及びその他のメキシコの番組制作機関の技術及び制作のスタッフに対する理論的かつ実践的な訓練を提供し、もって同国の教育番組の制作及び放送の発展に資する。

2. 日本の技術協力の役割

(1) 日本の技術協力の役割は、教育番組制作に携わるメキシコ人の技術及び制作要員を訓練する目的でプロジェクトに専属的に雇われたU T Eのカウンターパートに対し、技術的助言を提供することである。

(2) メキシコ側カウンターパートに対する技術的助言を行う分野は以下のとおり。

- ① T Vカメラ
- ② 照明
- ③ ビデオ及びV T R技術
- ④ 音響
- ⑤ ポストプロダクション及び編集
- ⑥ 機材の保守
- ⑦ 番組制作（基礎）
- ⑧ 番組制作（上級）
- ⑨ その他の特別訓練
- ⑩ 実習

II. 日本人専門家

1. チーフアドバイザー

2. 調整員

3. 専門家

- (1) 番組制作
- (2) 制作技術
- (3) 制作技術（施設）

4. 短期専門家

(注) 短期専門家はプロジェクトの円滑な実施のために必要に応じ派遣される。

III. 供与機材

1. スタジオ設備 (ビデオ、オーディオ、照明)
2. 編集設備 (ポストプロダクション、編集)
3. EFP (電子野外制作)
4. その他相互に合意された必要資機材

IV. メキシコ側カウンターパート及び管理要員

1. プロジェクト長 (UTE局長)
2. 教育テレビ研修センター長
3. 以下の分野におけるカウンターパート
 - (1) 番組制作
 - (2) 制作技術
 - (3) 制作技術 (施設)

カウンターパートの資格要件

- (1) 年齢 -- 40歳未満
- (2) 大学卒もしくは大学卒同等の能力を有する者
- (3) 当該分野における実務経験が少なくとも3年以上の者
- (4) 十分な英語の能力のある者

4. 管理要員

- (1) 管理
- (2) 会計
- (3) チーフアドバイザーの秘書 (西語、英語のバイリンガル)
- (4) 日本人専門家の事務要員 (西語、英語のバイリンガル)
- (5) 公務用ドライバー
- (6) その他必要なスタッフ

V. JOINT COMMITTEE

1. 機能

JOINT COMMITTEE は少なくとも年1回、また必要に応じ適宜開催され、

- (1) 本討議議事録の枠組の中で作成された暫定実施計画に基づき、プロジェクトの年度実施計画作成
- (2) 上記年度実施計画の成果と技術協力の進捗状況の再検討
- (3) 技術協力そのものから発生した、もしくは、関連して発生した主要事項にかんする再検討及び意見交換

2. 構成員

(1) 議長：文部省官房長官

(U T E 局長は議長の代理を務めることができる。)

(2) 構成員

(a) メキシコ側

- (i) U T E 局長
- (ii) 教育テレビ研修センター長
- (iii) 各技術協力分野のカウンターパート

(b) 日本側

- (i) チーフアドバイザー
- (ii) 調整員
- (iii) その他の日本人専門家
- (iv) 必要であれば、 J I C A によって派遣された関係者
- (v) J I C A メキシコ事務所長

(注1) 日本大使館員もオブザーヴァーとして JOINT COMMITTEE に出席できる。

(注2) 議長欠席の場合には、(議長を代行する) U T E の局長が議長に報告する。

VI. 土地、建物、施設

1. プロジェクトに必要な土地、建物、施設
2. 供与機材の設置、貯蔵に必要な部屋、空間
3. チーフアドバイザー及び日本人専門家の事務所及び必要な設備
4. その他必要に応じ相互に合意された設備

図 表 I

プロジェクトの組織図

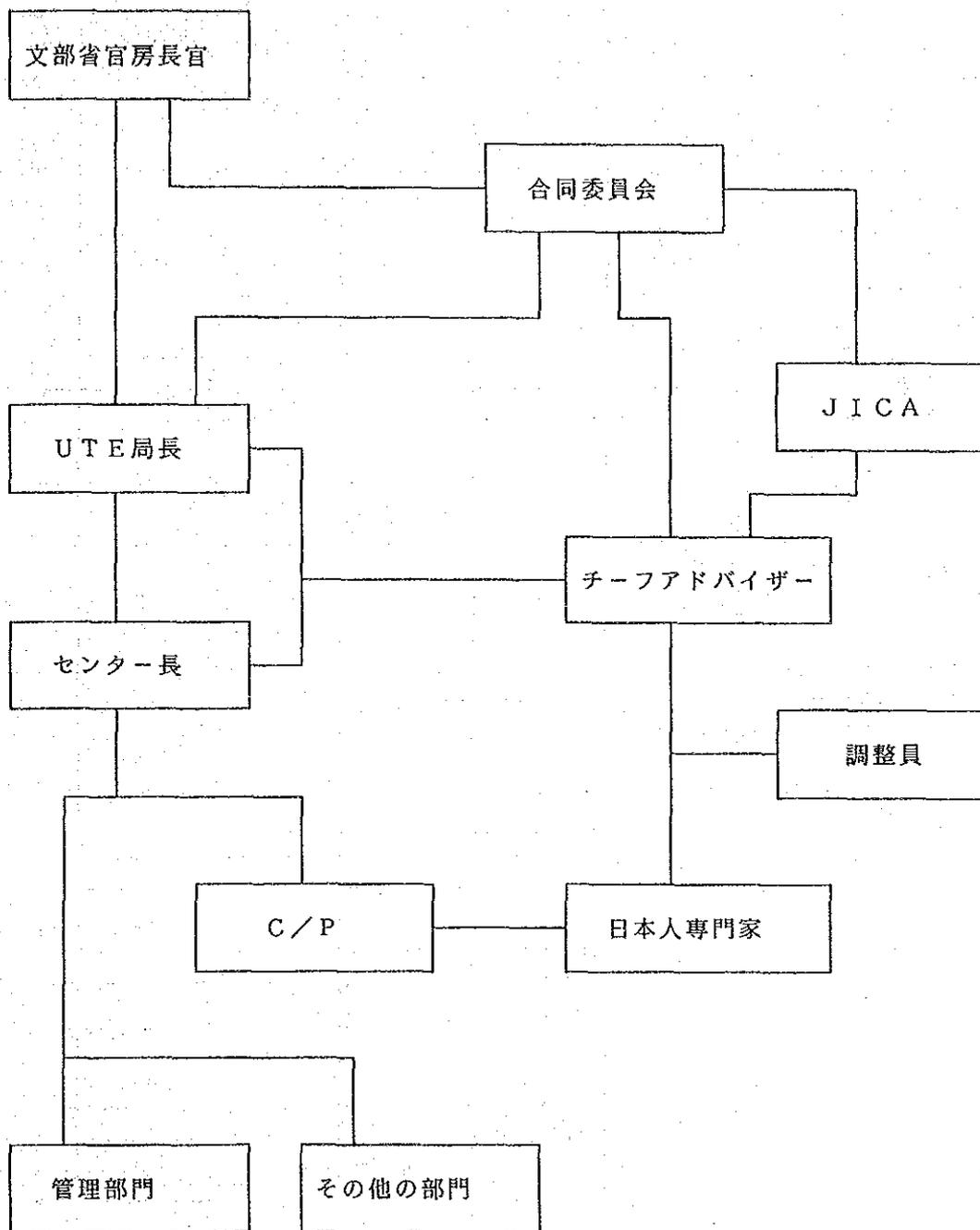


図 表 II

暫定実施計画(TSI)

項目	1991	1992	1993	1994	1995	1996
協力期間 5年	4月					3月
専門家派遣 1.長期専門家 (1) チーフアドバイザー (2) 調整員 (3) 各分野の専門家 a)番組制作 b)制作技術 c)制作技術 (施設) 2.短期専門家	10月 4月					
			(必要に応じ)			
機材供与	-----	-----	-----	-----	-----	-----
研修員日本研修	-----					
メカ側要員の役務 1.UTE 局長 2.センター長 3. C/P (1) 番組制作 (2) 制作技術 (3) 制作技術 (施設) 4.管理部門 (1) 管理 (2) 会計 (3) 秘書 (4) 事務職員 (5) 運転手 (6) その他	----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- -----					

(注) 暫定実施計画はR/Dの変更の枠内に従うものとする。

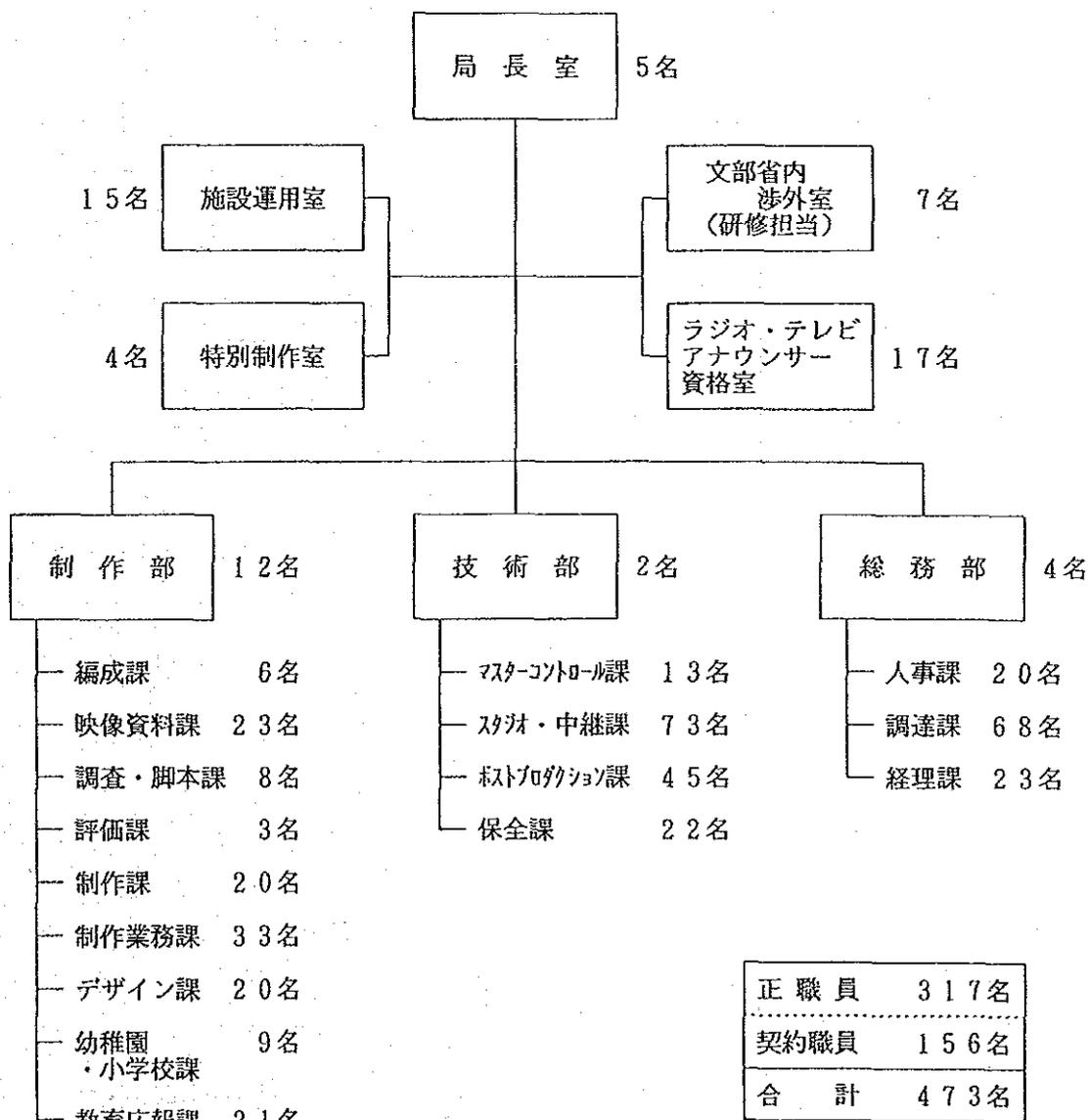
4. プロジェクト実施上の留意点

4-1 実施体制

4-1-1 メキシコ側関係機関

メキシコ側関係機関については、前回の長期調査の時点と何ら変わりはない。同報告書と重複とはなるが下記にメキシコ側関係機関を示す事とする。

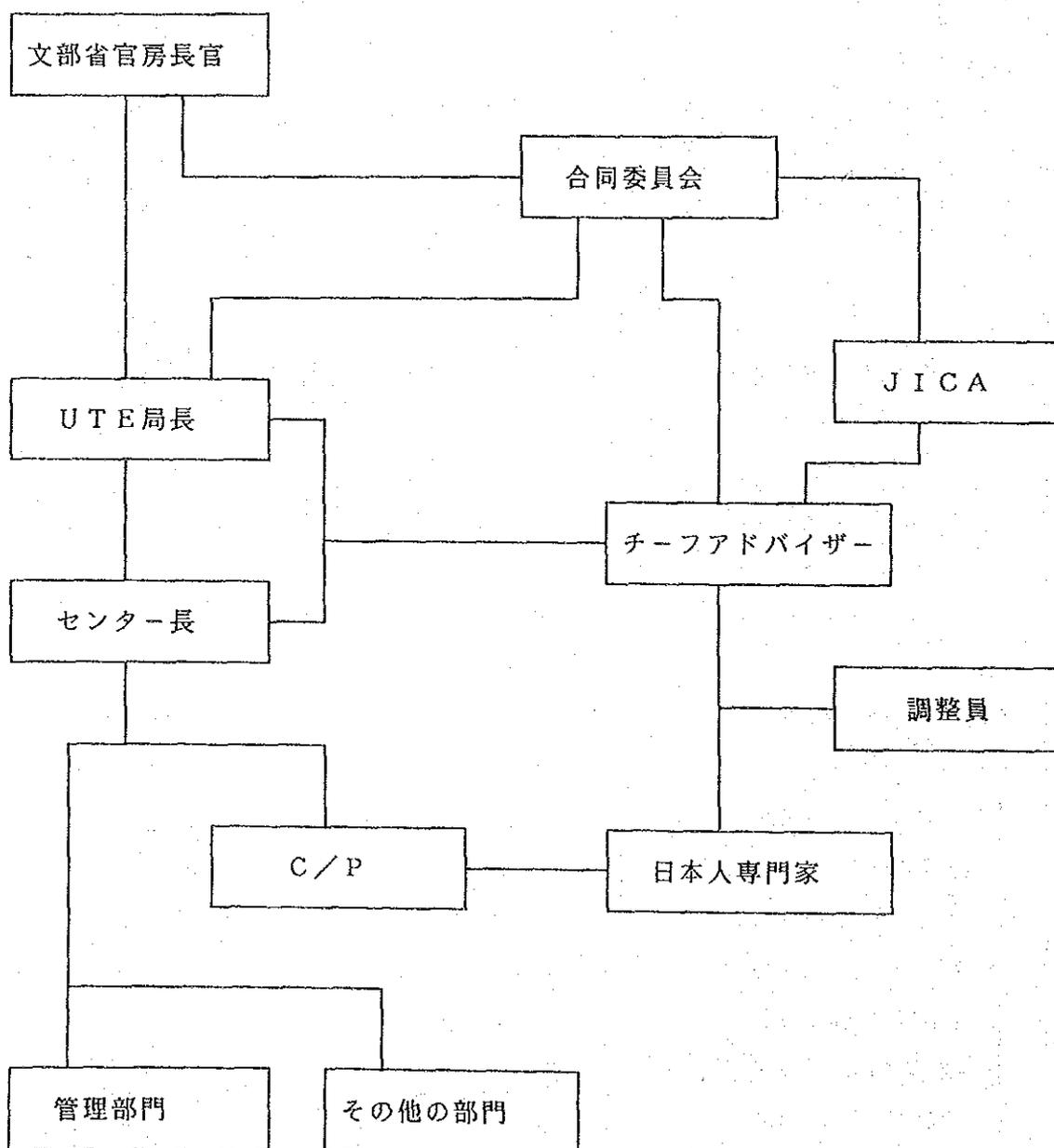
図4-1-1 UTE組織図



4-1-2 プロジェクトの組織機構

実施協議チームは、プロジェクトの実施運営上今回の討議議事録（R/D）によりプロジェクト新組織を明記し、同組織を設立する必要があるという当初の対処方針を踏まえてメキシコ側との協議を行った結果、下記図4-1-2の通りR/D図表にて組織機構を新たに定めることで双方合意した（「3-2 討議議事録等」参照）。

図4-1-2 プロジェクトの組織機構



4-1-3 メキシコ側予算措置

今回の調査団が入手したメキシコ側予算措置状況を下記に示す。(1991年3月18日入手—1991年会計年度予算)

項目	金額	円貨額
備品・機材(設備費)	1,395百万ペソ	70百万円
人員の契約(人件費)	210百万ペソ	11百万円
機材供与に伴う税金負担	2,345百万ペソ	117百万円
小計	3,950百万ペソ	198百万円
建物建設費	3,000百万ペソ	150百万円
合計	6,950百万ペソ	348百万円

我が方としては、今後上記の予算がどの様に執行(disburse)されるか次回以降の調査団を通じ注視してゆく必要がある。

4-2 プロジェクト協力の基本計画

4-2-1 協力基本計画

メキシコ文部省番組制作局(UTE)及び他のメキシコのテレビ関係機関の技術/制作要員に対して理論及び実習訓練の機会を与えることにより、メキシコの教育テレビ番組制作及び放送界の発展に寄与すること。

4-2-2 協力期間

1991年4月1日から1996年3月31日まで(5年間)

4-2-3 協力分野

- ①TVカメラ ②照明技術 ③映像/VTR技術 ④音声技術
- ⑤ポストプロダクション/編集 ⑥機材保守 ⑦番組制作(基礎)
- ⑧番組制作(上級) ⑨特別研修 ⑩実習訓練

4-2-4 協力の目標

- (1) カウンターパート

UTEに勤務する教育テレビ番組制作に従事する要員

(資格要件：40歳以下、英語能力、大学卒/同等の実力を有する者及び実務経験3年以上)

(2) 研修対象者

- ① UTEの教育テレビ番組関係の制作及び技術職員
- ② メキシコのテレビ機関の番組制作及び技術職員

4-2-5 専門家の派遣

- ① チーフアドバイザー 1名
- ② 調整員 1名
- ③ 専門家 3名[番組制作(1)、制作技術(1)及び制作技術(設備)(1)]

但し、現在個別派遣専門家として派遣されている大井専門家は、本年4月1日付けでプロ技協専門家に切り替える。

4-2-6 供与機材

先方は、表の中の“Provision of the Equipment for the Project”の線が協力期間中全て実線で引かれていたことから、いつ機材が導入されるか不明であるとして、明確に記載するように要求があった。

これに対して調査団は、次のような線に変更することで理解を求め、先方は理解した。

1991	1992	1993	1994	1995	1996
①	② ③	④	⑤		

- ① 1991年度発注機材で製造期間の短い機材の導入
- ② 1991年度発注機材で製造期間の長い機材の導入
- ③ 1992年度発注機材で製造期間の短い機材の導入
- ④ 1992年度発注機材で製造期間の長い機材の導入
- ⑤ 消耗品、スペアパーツ及びアクセサリー等の部品の導入

4-2-7 C/P 日本研修

R/D 協議の中では C/P の日本研修につき、協力第 1 年度は 3 名という数で合意を見た (R/D その他の文書等には明記せず)。第 2 年度以降の計画に関しては受入れ数を含め協議は行わなかったが、プロジェクトの効果的な推進のため、今後先方要望及び進捗状況に照らし、最大限の協力をするよう考慮すべきである。

4-2-8 教材作成

- (1) 教材作成に必要な経費については、R/D 上でメキシコ側の負担が確認されているが、今後日本側が経費面で支援することにより、より充実した教材が準備できる可能性がある。
- (2) 教材作成については、メキシコ側が組織的に進める必要がある (たとえば UTE の中に教材作成委員会を組織)、1991 年 2 月の長期調査の際も先方にその必要性につき説明しているところであるが、この点に関し今後先方と連絡を取りながら円滑な教材作成に配慮する必要がある。

5. 分野別技術移転計画, 訓練計画

5-1 技術移転計画

カウンターパートに対する技術移転計画の大枠は次の通りである。

1991年度は10月を目標として、チーフ・アドバイザー、調整員各1名、専門分野を有する専門家2名が派遣され、プロジェクト当初から派遣の専門家1名と合わせて、長期専門家5名が全て揃う。UTEの研修活動は1992年度から開始されるが、これに向けて、1991年度における技術移転を本格的な規模で開始する。

その内容の大筋は次の通り。

- ・プロジェクト期間全体にわたる研修計画全体のあり方についての助言指導
- ・訓練センターのシステム全体にわたる説明と運用方法の指導
- ・個々の機材に関する説明及び操作方法の指導
- ・各研修分野について、基礎的な理論や技法の指導
- ・教材（視聴覚教材を含む）の作成指導

1992年度には研修コースを開始する。その日程は、第1サイクルとして10分野の研修コースを一巡させたあと、第2サイクルとして一部のコースをもう1回繰り返す。

R/D協議の中で、UTE側は次の事柄を要望した。すなわち、準備期間等から考えて1992年度当初はカウンターパートへの技術移転がまだ十分な水準に達しないことが予想され、カウンターパートが独力で研修講師を務めることに堪え得ない蓋然性が非常に高い。したがって専門家が直接講師役を果たしてほしいという要望である。調査団は、やむを得ない事情を考慮し、原則として1992年度の第1サイクルに限り、これを認めることとした。これは専門家による示範授業となる。

したがって、1992年度における技術移転は、第1サイクルにあっては、専門家は、この示範授業を通じて講義・実習の教授方法に関する技術移転を行う。同時にこれと並行して、専門家とカウンターパートのマンツーマン方式により、各種の技術移転が行われる。また第2サイクル以降は、マンツーマン方式により技術移転が行われる。

総合すれば1992年度は大筋で次のような技術移転が行われる。

- ・講義・実習の教授方法に関する指導
- ・各研修分野について、基礎から応用までの理論や技法の指導
- ・訓練センターのシステムの総合指導
- ・機材の定期保守及び故障修理に関する基礎指導

5-2 訓練計画

5-2-1 研修分野

UTEが実施する研修の分野は、長期調査で調査した通り、協力分野に沿った次の10分野である。

1. テレビカメラ技術
2. 照明技術
3. 映像技術・VTR技術
4. 音声技術
5. 編集及びポストプロダクション
6. 機器の保守技術
7. 番組制作（基礎）
8. 番組制作（応用）
9. その他の特別研修
10. 番組制作実習

分野別の内容は、概略次のようにブレイクダウンされる（注）。（なお、この内容は今後、研修教材の作成等に伴い、改正される余地があるものである）

注. メキシコ教育テレビ研修センター長期調査員報告書（平成3年2月）9～19頁「3. 研修実施計画」を参照。

(1) テレビカメラ技術

①カメラの基礎

・撮像管 ・ CCD ・ レンズ ・ カメラの構造 ・ 調整

②カメラの操作

・ 基本的注意 ・ 用語 ・ カメラアングル ・ カメラの動き ・ カメラ位置

・ 構図

③スタジオとロケーションにおけるカメラ

・ 教育番組 ・ 教養番組 ・ 音楽番組 ・ ドラマ ・ ロケーション

④カメラの周辺機器

・ クレーン ・ ドリール ・ レール ・ その他

⑤その他

(2) 照明技術

①光と色の基礎

- ・光の特徴 ・色の特徴 ・可視放射 ・放射と光の単位
- ②照明の基本
 - ・光源による光の違い ・色温度 ・フィルターの働き ・照明機器
- ③スタジオ照明の実際
 - ・基本的注意 ・セットの照明 ・番組別照明 (教育, ドラマ, 音楽)
- ④ロケ照明の実際
- ⑤その他
- (3) 映像技術・VTR 技術
 - ①カラーテレビの基礎
 - ・カラーテレビの基本構造 ・カラーテレビの方式 (NTSC, PAL, SECAM)
 - ・カラーテレビ方式の詳細 ・デジタル技術
 - ② VTR の概要と詳細
 - ・各種の VTR (1 inch, 3/4 inch, 1/2 inch, VHS, BETAMAX, 8 mm)
 - ・VTR の機能と使用法 ・各部の名称 ・トランスポートーション
 - ・モニターのコントロール ・操作方法 ・調整
 - ④各種映像機器
 - ・VDA, ADA ・同期発生器 ・スイッチャー ・カラーコレクター
 - ⑤その他
- (4) 音声技術
 - ①音声の基礎
 - ・音の伝播 ・聴覚の特徴 ・音源 ・音の単位と測定
 - ②音声技術の概要
 - ・音声信号の取扱い ・録音と再生 ・マイクの種類と使用法 ・調整卓
 - ③スタジオの音声
 - ・スタジオ音響 ・テレビの音声 ・ドラマと対談 ・音楽 ・オーケストラ
 - ④ロケーションの音声
 - ⑤音声の特殊効果
 - ・エコー ・リバーブ ・イクオリゼーション ・ディストーション
 - ・ミキシング ・その他
 - ⑥ステレオ音声技術
 - ⑦その他
- (5) 編集及びポストプロダクション
 - ①編集の基礎

- ・タイムコードによる編集 ・A—B編集 ・コンピューターによる編集
- ・吹替え ・スーパーインポーズ ・音声アレンジ ・アクションの編集
- ・継続性のある編集

②ポストプロダクション

- ・コンピューターによるポストプロダクションシステム ・タイムコード
- ・映像ミキシング ・音声ミキシング (効果音, 音楽, アナウンス)
- ・並行モンタージュ ・アニメーション ・特殊効果機器 (DVE 等)

③その他

(6) 機器の保守技術

①保守技術の基礎

- ・映像機器の構成 ・音声機器の構成 ・測定器の取扱い ・映像機器の詳細
- ・音声機器の詳細 ・その他

②VTRの保守技術

- ・VTRのフォーマット ・VTRの基本構造 ・VTRの信号プロセス
- ・調整の手順 ・機器の分解 ・機器の操作

③カメラの保守技術

- ・光学理論 ・撮像原理 (撮像管, CCD) ・カメラの基本構造 ・調整の手順
- ・機器の操作

④音声機器の保守技術

- ・音声理論 ・音声機器の信号プロセス ・音声信号のパラメーター
- ・音声機器の基本構造 ・調整の手順 ・機器の操作

⑤個別機器保守の実際

- ・1 inchVTR ・1/2 inchVTR ・キャラクタージェネレーター ・編集機
- ・その他

⑥その他

(7) 番組制作 (基礎)

①教育番組概論

- ・教育番組の種類と内容 ・自然科学番組 ・数学番組 ・社会科学番組
- ・技術教育番組 ・幼児番組

②テレビカメラの基礎

- ・カメラの機能 ・レンズ ・フォーカス ・距離 ・アングル ・アイリス
- ・クレーン ・レール台車 ・フィルター ・撮影形態 ・レンズの選定
- ・カメラの動き (ドリー, ズーム, パン, アーク, チルト)

③メーキャップ

- ・メーク用具とメークによる特徴付け ・テレビと劇場のメークの違い
- ・メークの基礎テクニック ・性格づけのためのメーク ・ファンタジーメーク
- ・メーク実習

④台本

- ・教育台本の企画, 構成, 執筆 ・教育番組の学習心理 ・台本の書き方
- ・絵コンテの書き方 ・台本執筆実習

⑤幼児番組

- ・幼児とテレビ番組 ・幼児番組の歴史 ・幼児番組の基本エレメント
- ・幼児番組サンプルの分析

⑥人形

- ・人形の形と特徴 (あやつり人形, 指人形, ロボット, ぬいぐるみ等)
- ・人形のデザインと製作 ・番組による使い分け

⑦グラフィック及びアニメーション

- ・グラフィックの違い (パターン, テロップ, シルエット) ・デザインと製作
- ・アニメーション

⑧その他

(8) 番組制作 (応用)

①カメラテクニック

- ・イメージの構成 ・面画の構成要素 ・美的イメージ ・心理的イメージ
- ・動きの構造とバランス ・番組サンプルの分析検討

②編集とポストプロダクション

- ・編集テクニック発達の歴史 ・シークエンスの追い方 ・同時進行形式
- ・シークエンスの流れ ・番組のテンポ ・シリーズの一貫性 ・音声効果
- ・編集実習

③照明

- ・照明の基本 ・照明の種類 (キイライト, バックライト, ベースライト等)
- ・状況に応じた照明 ・雰囲気づくりのための照明 ・自然光と人工光の組合せ
- ・ロケ照明 ・レフ板の使い方 ・特殊効果

④音声

- ・音声の種類 (人声, 音楽, 効果音, 無音) ・音声による雰囲気づくり
- ・効果音の制作 ・音楽の使い方 ・ミキシング ・マイクの種類と特徴
- ・ホールでの音声テクニック ・ロケでの音声テクニック

・ステレオ音声テクニック

⑤特殊映像効果

・録画トリック ・模型のデザインと作成 ・クロマキー ・照明効果

⑥その他

(9) その他の特別研修

- | | |
|-------------|--------------|
| a) VTR 保守技術 | e) アニメーション技法 |
| b) カメラ保守技術 | f) スタジオ美術 |
| c) デジタル効果技術 | g) メークアップ技法 |
| d) テレビ伝送技術 | h) その他 |

(10) 番組制作実習

各研修コースで受講した内容を、番組制作実習を通して実際に活用し、研修の成果を検証する。

5-2-2 各年度の研修目標と派遣専門家の役割

協力期間中の各年度の研修目標及び派遣専門家の役割は、以下の通り計画されている。

《第1年度（1991年度）》

専門家はメキシコ側カウンターパートに対するトレーニングを実施。併せて、専門家・カウンターパート共同で研修教材の作成に当たる。

《第2年度（1992年度）》

UTE 職員を対象に研修を実施する。10分野のコースが一巡するまでの第1サイクルにあっては、専門家は示範授業を兼ね、直接研修の指導に当たる（但し、第1サイクルの中でもカウンターパートが実力をつけたならば、上記期限以前でも逐次専門家を引き継ぐ）。第2サイクルからはカウンターパートが中心となって指導に当たる。

研修人数は、年間を通じ延べ200人の研修を目標とする。

《第3年度（1993年度）》

メキシコシティ市内の放送局・プロダクションの職員に研修対象を拡大する。

この年度の研修は、カウンターパートが中心となって指導に当たり、専門家が補佐する。年間を通じ、延べ300人の研修を目標とする。

《第4年度（1994年度）》

メキシコ全土の放送局・プロダクションの職員に研修対象を拡大する。

指導は、特別研究を除き、全てカウンターパートが行い、専門家はアドバイザーとなる。年間を通じ、延べ300人の研修を目標とする。

《第5年度（1995年度）》

メキシコ国内の放送局・プロダクションに加え、近隣諸国からの参加者も受入れる。

専門家は、プロジェクト終了後研修センターが中南米における放送研修のリーダー的役割を担えるよう必要な助言・指導を行う。

年間を通じ、延べ300人の研修を目標とする。

5-2-3 研修コースの年間実施計画

UTEが計画している第2年度（1992年度）の個別の研修コースについて、その実施計画は図5-2-3の通りである（長期調査員報告書19頁参照）。

図5-2-3 研修コースの年間実施計画（第2年度：1992年度）

実施月	研修コース		
第1月	準備		
	テレビカメラ技術 2週	映像技術 VTR技術 3週	番組制作 (基礎)
第2月	準備	4週	
	照明技術 2週	準備	
	準備	編集及び ポストプロダクション 3週	
第3月	準備	準備	4週
第4月	番組制作実習		
第5月	準備		
	音声技術 2週	機器の 保守技術 4週	番組制作 (基礎) 4週
準備	番組制作 (応用) 4週		
第6月		特別研修	準備

実施月	研修コース		
第7月	特別研修	特別研修	特別研修
第8月	10週		
第9月	準備	10週	10週
	テレビカメラ技術 2週	準備	準備
第10月	準備	映像技術 VTR技術 3週	番組制作 (基礎) 4週
	照明技術 2週		
第11月	準備	準備	準備
		編集及び ポストプロダクション 3週	番組制作 (応用) 4週
第12月	番組制作実習		

1992年度の受講者は UTE 職員のみである。研修のスタイルは、オフ・ザ・ジョブ・トレーニングで、研修時間中は、受講者は通常業務から離れて研修に専念する。UTE の説明では、UTE の所定勤務時間（実働）は 1 日 7 時間であるが、研修受講者は研修には 6 時間のみ参加し、残り 1 時間は通常業務に従事するのを原則とする。

1992年度において、UTE の職員を対象にこれだけの研修を施すことについて、番組制作の通常業務を阻害しないか、両者は両立し得るかどうかについて、R/D 協議の際、調査団は質問を呈した。メキシコ側の説明は、UTE が番組制作に従事させている総マンパワーのうち、研修に投入する比率が 10 パーセント前後であれば支障はない、というものであった。

そこで同年度の研修実施計画のデータ（注）に基づき、1992年度に UTE が研修受講に割くマンパワーの比率を計算すると、7.7 パーセントとなり（表 5-2-3 参照）、UTE が目安とする 10 パーセントを下回る。

注. メキシコ教育テレビ研修センター長期調査員報告書（平成 3 年 2 月）9～19 頁「3. 研修実施計画」。

表5-2-3 UTEが第2年度(1992年度)の研修受講に投入するマンパワー比率

1. UTE 職員のうち研修対象となる職員のマンパワー

番組制作現場の職員数

制作部 155人-行政職12人=143人

技術部 155人-行政職 2人=153人

合 計 296人 (ア)

1年間の実働日数

365-52週×2(土・日)-61日(休暇・祝祭日)=200日 (イ)

マンパワー総計

ア×イ=59,200人日 (ウ)

2. 研修に投入するマンパワー

(人) (日/週) (週) (コース数)

——第1サイクル——

①テレビカメラ技術	10	×	5	×	2	×	1	=	100人日
②照明技術	10	×	5	×	2	×	1	=	100
③映像・VTR技術	10	×	5	×	3	×	1	=	150
④音声技術	10	×	5	×	2	×	1	=	100
⑤編集・ポストプロダクション	10	×	5	×	3	×	1	=	150
⑥機器の保守技術	10	×	5	×	4	×	1	=	200
⑦番組制作(基礎)	10	×	5	×	4	×	1	=	200
⑧番組制作(応用)	10	×	5	×	4	×	1	=	200
⑨その他の特別研修	15	×	5	×	10	×	3	=	2,250
⑩番組制作実習	20	×	5	×	6	×	1	=	600

——第2サイクル——

①テレビカメラ技術	10	×	5	×	2	×	1	=	100
②照明技術	10	×	5	×	2	×	1	=	100
③映像・VTR技術	10	×	5	×	3	×	1	=	150
⑤編集・ポストプロダクション	10	×	5	×	3	×	1	=	150
⑦番組制作(基礎)	10	×	5	×	4	×	1	=	200

⑧番組制作(応用)	10	×	5	×	4	×	1	=	200
⑨番組制作実習	20	×	5	×	4	×	1	=	400

合 計

5,350人日 (エ)

3. 研修に投入される比率

$$(エ \times 6h / 7h) \div ウ = 0.774 \rightarrow \underline{7.7\%}$$

6. 1991年度協力計画

6-1 専門家派遣

(1) 長期専門家

R/Dで定める長期専門家は、チーフ・アドバイザー1名、調整員1名、その他の専門家3名〔担当分野は、それぞれ番組制作、制作技術及び制作技術(施設)〕の計5名である。このうち、制作技術は、これまで派遣されていた大井専門家が、平成3年4月1日をもって本プロ技協の専門家へ身分が切り替わって担当する。ほかの4名の専門家は、平成3年10月を目標に派遣される。

(2) 短期専門家

平成3年度にあつては、若干名の短期専門家を派遣するが、詳細については国内委員会が決定する。

6-2 機材供与

第1年度(1991年度)については、長期調査での討議・調査を踏まえ、巻末資料に示すような種類と数量の機材を供与する。

その日程については、製造期間の長い機材に関しては、平成3年度第4四半期(1992年1月から3月末)の間に発送できるよう最善の努力を行う。また製造期間の短い機材に関しては、順次発送できるよう極力配慮することとする。

6-3 研修員受入れ

平成3年度におけるカウンターパートの日本研修については3名を受入れる(なお、これとは別に集団研修枠で受入れる可能性もあることを、R/D協議の際メキシコ側に伝えた)。

卷 末 資 料

協力第1年度供与機材構成 (案)

【 資 料 】

第一年度分 供与機材構成 (案)

STUDIO VIDEO SYSTEM (1/3)

DESCRIPTION	QTY	NOTE
STUDIO/OB COLOR CAMERA 3-1T CCD NTSC	3 SETS	
7" B/W VIEWFINDER	3 SETS	
SCRIPT HOLDER FOR 2-PAGES	3 SETS	
SERVO ZOOM LENS FOR COLOR CAMERA	3 SETS	
CAMERA CONTROL UNIT NTSC FOR COLOR CAMERA	3 SETS	
RACK MOUNT METAL FOR CCU	3 SETS	
MASTER SET UP UNIT WITH VIDEO SELECTOR	1 SET	
REMOTE CONTROL PANEL	3 SETS	
REMOTE CONTROL CABLE	9 PCS	
50-METER TRIAX CAMERA CABLE WITH CONNECTOR	4 SETS	
CAMERA PEDESTAL AND CAM HEAD	3 SETS	
MONITOR STAND (HIGH)	2 SETS	
MONITOR STAND (LOW)	2 SETS	
1-INCH VTR NTSC W/SYNC W/CONTROL PANEL	1 SET	
HI-QUALITY TBC FOR 1-INCH VTR NTSC	1 SET	
COLOR VIDEO MONITOR 12-INCH NTSC FINE PITCH	1 SET	
WAVEFORM MONITOR NTSC	3 SETS	
VECTOR SCOPE NTSC	3 SETS	
1-INCH CONSOLE W/CABLE (WITH SPEAKER)	1 SET	
1/2-INCH STUDIO EDITING VTR NTSC	1 SET	
TBC REMOTE CONTROLLER NTSC (FOR 1/2-INCH VTR)	1 SET	
RACK MOUNT METAL (FOR 1/2-INCH VTR)	1 PC	
3/4-INCH STUDIO EDITING VTR NTSC	1 SET	

· STUDIO VIDEO SYSTEM (2 / 3)

DESCRIPTION	Q'TY	NOTE
PLUG-IN TBC FOR 3/4-INCH VTR NTSC	1 SET	
TBC REMOTE FOR 3/4-INCH VTR NTSC	1 SET	
PLUG-IN TIME CODE GENERATOR/READER	1 SET	
RACK MOUNT KIT FOR 3/4-INCH VTR	1 PC	
PRODUCTION SWITCHER SYSTEM	1 SET	
COLOR MONITOR TV 13-INCH NTSC	2 SETS	
RACK MOUNT KIT(WITH SLIDE RAIL) FOR 13-INCH COLOR MONITOR	2 PCS	
COLOR MONITOR TV 13-INCH NTSC	13 SETS	
COLOR VIDEO MONITOR 21-INCH NTSC	5 SETS	
COLOR VIDEO MONITOR 9-INCH NTSC	4 SETS	
14-INCH COLOR TV (NTSC)	1 SET	
SYNC GENERATOR	1 SET	
COLOR BAR GENERATOR MODULE FOR SYNC GENERATOR	1 SET	
CONVERGENCE GENERATOR MODULE FOR SYNC GENERATOR	1 SET	
VDA/PDA SYSTEM	3 SETS	
VIDEO TYPEWRITER SPANISH	1 SET	
VIDEO TIMER	1 SET	
MONITOR SELECTOR FOR VE&LD	1 SET	
TBC SELECTOR 5IN/10UT	1 SET	
VE MONITOR SELECT 2IN/10UT	1 SET	
A/V SELECTOR 2IN/10UT FOR HOME VIDEO	1 SET	
VTR REMOTE FOR VTR	1 SET	
VIDEO PATCH PANEL 20-DUAL PATCH JACKS	6 SETS	

· S T U D I O V I D E O S Y S T E M (3 / 3)

D E S C R I P T I O N	Q ' T Y	N O T E
VIDEO PATCH CABLE(60CM) 5 CABLES PER BUNDLE	4 SETS	
VIDEO PATCH CABLE(30CM) 5 CABLES PER BUNDLE	4 SETS	
AUDIO PATCH PANEL 20-DUAL PATCH JACKS	6 SETS	
AUDIO PATCH CABLE (47CM) 5 CABLES PER BUNDLE	4 SETS	
AUDIO PATCH CABLE (27CM) 5 CABLES PER BUNDLE	4 SETS	
EIA RACK WITH POWER SUPPLY UNIT	5 SETS	
CONTROL CONSOLE WITH CHAIR	1 SET	
INTERCOM SYSTEM	1 SYS	
WIRELESS INCOM SYSTEM	1 SYS	
TALLY SYSTEM	1 SYS	
STUDIO CONNECTING BOAD	1 SET	
INSTALLATION MATERIALS	1 LOT	
HOME VIDEO	2 SETS	
MASTER CLOCK SYSTEM	1 SYS	
GREY SCALE PATTERN	3 SETS	
TRIAx CABLE CONNECTING PANEL	1 SET	
TRIAx CABLE WITHOUT CONNECTOR 300-METER	1 SET	
VDL	1 SET	
MONITOR SELECTOR FOR 1/2-INCH & 3/4-INCH VTR	1 SET	

· STUDIO AUDIO SYSTEM (1 / 4)

DESCRIPTION	QTY	NOTE
MIXING CONSOLE FRAME FOR 26-FREE MODULES WITH CHAIR	1 SET	
POWER SUPPLY UNIT FOR MIXING CONSOLE	1 SET	
INPUT MODULE	21 SETS	
STEREO/LINE INPUT MODULE	10 SETS	
GROUP MODULE	4 SETS	
DYNAMICS MODULE	1 SET	
MONITOR MODULE	1 SET	
MASTER MODULE	1 SET	
COMMUNICATION MODULE	1 SET	
BLANK PANEL	2 PCS	
TALKBACK MIC W/AMP	1 SET	
TWO-CHANNEL DIGITAL REVERBERATOR	1 SET	
PROFESSIONAL MONITOR AMP	3 SETS	
SPEAKER SYSTEM	2 PCS	
AUDIO POWER TRAY FOR ADA	3 SETS	
AUDIO DISTRIBUTION AMP 1-IN / 2-OUT	9 UNITS	
LOUD SPEAKER	2 PAIR	
OPEN REEL TAPE RECORDER (AC-120V)	2 SETS	
STEREO CASSETTE DECK	1 SET	
COMPACT DISK PLAYER UNIT	2 SETS	
2-PLAYER-CONTROL UNIT FOR CDP	1 SET	
CD FADER UNIT	1 SET	
COMPACT DISK SYSTEM RACK	1 SET	

· S T U D I O A U D I O S Y S T E M (2 / 4)

D E S C R I P T I O N	Q ' T Y	N O T E
STEREO HEADPHONE	2 SETS	
UHF WIRELESS MIC DYNAMIC	3 SETS	
UHF TRANSMITTER	3 SETS	
PORTABLE BASE UNIT FOR UHF PORTABLE DIVERSITY TUNER	1 SET	
UHF GROUND PLANE ANTENNA	2 SETS	
UHF ANTENNA BOOSTER	2 SETS	
COAXIAL CABLE WITH BNC FOR WIRELESS MIC SYSTEM	2 PCS	
UHF PORTABLE DIVERSITY TUNER	3 SETS	
CONDENSER MIC W/ACC (A)	1 SET	
CONDENSER MIC (B)	3 SETS	
CONDENSER MIC (C)	1 SET	
CONDENSER MIC (D)	1 SET	
CONDENSER MIC (E)	1 SET	
DYNAMIC MIC (A)	1 SET	
DYNAMIC MIC (B)	1 SET	
DYNAMIC MIC (C)	3 SETS	
ELECTRET CONDENSER MIC LAVALIER TYPE BLACK	3 PCS	
HS CLIP PACK	2 CASE	
VS CLIP PACK	1 CASE	
SAFETY PIN TYPE CLIP PACK	1 CASE	
TIEPIN TYPE CLIP PACK	1 CASE	
WIND SCREEN PACK METAL TYPE	6 CASE	
WIND SCREEN KIT URETHANE TYPE	10 CASE	

· S T U D I O A U D I O S Y S T E M (3 / 4)

D E S C R I P T I O N	Q ' T Y	N O T E
POWER SUPPLY HOLDER	2 CASE	
MIC STAND (A)	3 SETS	
MIC STAND (B)	3 SETS	
MIC STAND (C)	2 SETS	
MIC STAND (D)	2 SETS	
MIC STAND (E)	2 SETS	
MIC STAND (F)	2 SETS	
MIC STAND (G)	2 SETS	
MIC STAND (H)	1 SET	
8-CH MULTICABLE 30-METER W/CONNECTORS WITH BOX	4 SETS	
MATCHING UNIT	8 SETS	
L+R CIRCUIT FOR CD	1 SET	
MIC EXTENSION CABLE 10M (M-F)	20 PCS	
AUDIO CABLE 2 WIRES(100M) FOR AUDIO PLUG	3 ROLL	
AUDIO PLUG FEMALE (3 PIN)	50 PCS	
AUDIO PLUG MALE (3 PIN)	50 PCS	
MIC CONNECTOR FEMALE (4 PIN)	10 PCS	
MIC CONNECTOR MALE (4 PIN)	10 PCS	
MIC CONNECTOR FEMALE (5 PIN)	10 PCS	
MIC CONNECTOR MALE (5 PIN)	10 PCS	
DISK PLAYER (AC120V)	1 SET	
CARTRIDGE	2 PCS	
NEEDLE FOR CARTRIDGE	5 PCS	
ANN COUGH BOX	1 SET	

STUDIO AUDIO SYSTEM (4/4)

DESCRIPTION	Q'TY	O T E
MIC BOOM DOLLY	1 SET	
INSTALLATION MATERIALS	1 LOT	

· LIGHTING SYSTEM (1/4)

DESCRIPTION	Q'TY	NOTE
<u>1. LIGHTING CONTROL SYSTEM</u>		
Main switch board Input : 3 phase 4 wire AC 120V/208V 60HZ Contains : Main circuit breaker 4p 600AF/500AT 180KVA	1 set	
Dimmer unit rack Rack No.1 contains : 47 pcs Single 120V 50A plug-in dimmer units Rack No.2 contains : 41 pcs Twin 120V 25A plug-in dimmer units [Total : 2 racks, 47 pcs 50A units and 82 pcs 25A units, 129 dimmer circuits]	1 set	
Control console with chair Control panel includes : 1 pce x Master fader 1 pair x Cross fader 2 sets x 3 groups faders 3 scenes x 30 preset faders 1 set x Pin-board patch panel	1 set	
Inter-connection cable Complete with : 1 set x Input cable between Main switch board and Dimmer unit rack 40 m x Power cable between Main switch board and Control console 40 m x Control cable between Dimmer unit rack and Control console	1 set	
<u>2. MOTORIZED BATTEN SUSPENSION SYSTEM</u>		
Area lighting batten, 4 m length	18 sets	
Extra lighting batten, 5 m length	4 sets	
Back batten, 4 m length	2 sets	
Back batten, 5 m length	3 sets	
Upper horizont batten, 4 m length	4 sets	
Upper horizont batten, 5 m length	1 set	
Suspension control panel	1 set	

· LIGHTING SYSTEM (2/4)

DESCRIPTION	QTY	NOTE
<u>3. LIGHTING EQUIPMENT</u>		
Upper horizont light, Clamp type, Head body with filter holder	84 pcs	
Lower horizont light with filter holder	80 pcs	
120V 1KW lamp for UHL	80 pcs	
120V 750W lamp for UHL and LHL 180 pcs for UHL and 170 pcs for LHL	350 pcs	
120V 500W lamp for LHL	100 pcs	
1KW PRIMO spotlight with 4-leaf barndoor and filter holder	20 pcs	
120V 1KW lamp for 1KW PRIMO spotlight	60 pcs	
2KW PRIMO spotlight with 4-leaf barndoor and filter holder	5 pcs	
120A 2KW lamp for 2KW PRIMO spotlight	15 pcs	
3KW PRIMO spotlight with 4-leaf barndoor and filter holder	5 pcs	
120V 3KW lamp for 3KW PRIMO spotlight	15 pcs	
5KW PRIMO spotlight with 4-leaf barndoor and filter holder	1 pc	
120V 5KW lamp for 5KW PRIMO spotlight	5 pcs	
1.5KW Quartz broad light with 4-leaf barndoor and diffusion filter	5 pcs	
120V 750W lamp for 1.5KW Quartz broad light	30 pcs	
2.5KW Double Soft Light with filter holder	5 pcs	
120V 1.25KW lamp for 2.5KW Double Soft Light	30 pcs	
1KW Effect spotlight head	1 pc	
Spiral machine	1 pc	

· LIGHTING SYSTEM (3/4)

DESCRIPTION	QTY	NOTE
Disk machine	1 pc	
Slide carrier & Mask	1 pc	
Spiral matt, metal	10 pcs	
Disk matt	10 pcs	
4" x 5" matt, metal	10 pcs	
Objective Lens(A)	1 pc	
Objective Lens(B)	1 pc	
120V 1KW lamp for 1KW Effect spotlight head	5 pcs	
Heat absorbling filter for 1KW Effect spotlight head	1 pc	
Heat reflection filter for 1KW Effect spotlight head	1 pc	
<u>4. ACCESSORIES & OTHERS</u>		
Floor stand with caster	2 pcs	
Telescopic hanger(A)	15 pcs	
Telescopic hanger(B)	10 pcs	
Clamp hanger FOR 1KW	50 pcs	
Clamp hanger FOR 5KW	15 pcs	
Stand	2 pcs	
Hi stand	2 pcs	
Base plate	2 pcs	
Operation bar (Carbon) 3m	2 pcs	
Operation bar (Carbon) 4m	2 pcs	
Wall pocket for LHL . 6KW x 4 circuits	5 pcs	
Wall pocket for floor circuits, 6KW x 4 circuits	4 pcs	

· LIGHTING SYSTEM (4 / 4)

DESCRIPTION	Q'TY	NOTE
30A 3P Type C male connector	30 pcs	
60A 3P Type C male connector	10 pcs	
30A 3P Type C female connector	50 pcs	
Color filter 12 colors 200 sheets of 3 colors for Horizont lights and 300 sheets of 12 colors for others	500 pcs	
Extension cable, 10m	10 pcs	
Ellisport light	1 pc	
120V 500W lamp for Ellisport light	3 pcs	
1KW Follow spotlight	1 set	
120V 1KW lamp for 1KW Follow spotlight	6 pcs	
Other including 1 set of 5.5sq.mm cabtyre cable diffuser materials and lighting control spares such as fuses, pilot lamps etc	1 set	
Stand (5KW) for 1KW Effect spotlight head and 1KW Follow spotlight	4 pcs	
<u>5. WIRING MATERIALS</u>	1 set	
One set includes; a) 14sq.mm IV cable b) 5.5sq.mm IV cable c) Suspension control cable d) Conduit pipe e) Miscellaneous complete with solderless terminals, terminal insulation caps, ring sleeves insh-locks, vinyl tapes, binding wire and other		
<u>6. INSTALLATION AND MAINTENANCE TOOLS</u>	1 set	

POST-PRODUCTION SYSTEM (B)

DESCRIPTION	Q'TY	NOTE
1/2-INCH STUDIO EDITING VTR NTSC	3 SETS	
TBC REMOTE CONTROLLER NTSC	3 SETS	
RACK MOUNT METAL FOR 1/2-INCH VTR	3 PCS	
SIDE DESK	2 SETS	
MONITOR TABLE	2 SETS	
EDITING DESK WITH CHAIR	1 SET	
AUTOMATIC EDITING CONTROL UNIT	1 SET	
PROGRAM MONITOR 21-INCH NTSC	1 SET	
COLOR MONITOR TV 13-INCH NTSC	5 SETS	
MONITOR CONNECTING CABLE	5 PCS	
DVE	1 SET	
CABLE	1 LOT	
WAVEFORM MONITOR	1 SET	
VECTOR SCOPE	1 SET	
6-CHANNEL VIDEO SELECTOR	1 SET	
MOUNT BRACKET	1 SET	
AUDIO MONITOR AMP	2 SETS	
LOUD SPEAKER	2 PAIR	

EFP SYSTEM (1/2)

DESCRIPTION	QTY	NOTE
CCD PORTABLE COLOR CAMERA 3-CHIP NTSC	1 SET	
x14 MOTORIZED ZOOM LENS FOR COLOR CAMERA	1 SET	
RECORDER UNIT NTSC FOR COLOR CAMERA	1 SET	
AC ADAPTOR FOR COLOR CAMERA	1 SET	
BATTERY CHARGER UP TO 4 BATTERY 120V	1 SET	
BATTERY CASE	1 PC	
12V NI-CD RECHARGEABLE BATTERY PACK	6 PCS	
TRIPOD	1 SET	
SOFT CASE FOR TRIPOD	1 SET	
BALL LEVELER FOR TRIPOD	1 SET	
FLAT BASE FOR TRIPOD	1 SET	
DOLLY FOR TRIPOD	1 SET	
COLOR VIDEO MONITOR 8-INCH NTSC PORTABLE	1 SET	
PORTABLE LIGHTING KIT WITHOUT LAMP	1 SET	
LAMP 120V 650W FOR PORTABLE LIGHTING KIT	1 PACK	
PORTABLE REFLECTOR KIT WITH CASE	1 SET	
AC POWER CABLE WITH DRUM (50M)	1 SET	
PORTABLE MIC BOOM	1 SET	
CONDENSER MIC WITH ACCESSORY	1 SET	
STEREO CASSETTE DECK PORTABLE PROFESSIONAL	1 SET	
STEREO HEADPHONE	1 PC	
AUDIO MIXER	1 SET	
CLOSEUP LENS FOR x14 LENS	1 PC	
ELECTRET CONDENSER MIC LAVALIER TYPE BLACK	2 PCS	

• E F P S Y S T E M (2 / 2)

D E S C R I P T I O N	Q ' T Y	N O T E
DYNAMIC MIC	1 SET	
UHF TRANSMITTER	1 SET	
UHF PORTABLE DIVERSITY TUNER	1 SET	
WIDE ATTACHMENT FOR x14	1 SET	
FISH EYE FOR x14	1 SET	
SUNNY FILTER FOR x14	1 SET	
SCREEN FILTER FOR x14	1 SET	
SNOW CROSS FILTER FOR x14	1 SET	
SOFT FILTER FOR x14	1 SET	
WAVE FORM MONITOR	1 SET	
VECTOR SCOPE	1 SET	
13-INCH COLOR MONITOR	1 SET	
UHF DIVERSITY TUNER ATTACHMENT KIT	1 SET	
UHF WIRELESS MIC DYNAMIC	1 SET	

MEASURING INSTRUMENTS (1/2)

DESCRIPTION	QTY	NOTE
OSCILLOSCOPE	1 SET	
PROBE FOR OSCILLOSCOPE	6 PCS	
CART FOR OSCILLOSCOPE	1 SET	
DIGITAL MULTI METER	1 SET	
DC POWER SUPPLY	1 SET	
FREQUENCY COUNTER	1 SET	
NTSC PATTERN GENERATOR	1 SET	
CAMERA FOR OSCILLOSCOPE	1 SET	
HOOD FOR CAMERA	1 PC	
B/W FILM FOR CAMERA	75 PACK	
TERMINATOR (75-OHMS)	1 PC	
BNC CABLE	20 PCS	
TV SIGNAL GENERATOR	1 SET	
LINEARITY MODULE	1 SET	
COLOR BAR MODULE	1 SET	
SINE WAVE MODULE	1 SET	
VIDEO SWEEP GENERATOR	1 SET	
AUDIO ANALIZER	1 SET	
COLOR VIDEO MONITOR 13-INCH NTSC	1 SET	
RACK MOUNT KIT	1 PC	
WAVE FORM MONITOR	1 SET	
VECTOR SCOPE	1 SET	
EIA RACK WITH POWER SUPPLY UNIT	1 SET	
DEGAUSSER FOR COLOR TV	2 PCS	

· MEASURING INSTRUMENTS (2 / 2)

DESCRIPTION	QTY	NOTE
WHITE BALANCE CHECKER	1 SET	
VOLT OHM METER(TESTER)	3 SETS	
VIDEO COAXIAL CABLE BNC CONNECTORS 2M	20 PCS	
AUDIO CONNECTING CABLE 1.5M	20 PCS	
STANDARD CAPACITOR AND RESISTOR SET	1 SET	
MAIN TRANSISTER/DIODE KIT	2 SETS	
1-INCH VTR TOOL KIT	1 SET	
TOOL KIT	7 SETS	
SOLDER CLEANER 120V	5 SETS	
STAND FOR SOLDER CLEANER	5 PCS	
COMPACT TEST OSCILLATOR	1 SET	
COMPONENT SIGNAL GENERATOR	1 SET	
COMPONENT WAVEFORM MONITOR WITH CASE	1 SET	
STEREO SCOPE	1 SET	
SYNC GENERATOR	1 SET	
COLOR BAR GENERATOR MODULE FOR SYNC GENERATOR	1 SET	

TAPES

DESCRIPTION	QTY	NOTE
1" HIGHBAND MASTER TAPE W/CARRYING CASE 34MIN	15 PCS	
1" HIGHBAND MASTER TAPE W/CARRYING CASE 64MIN	15 PCS	
VIDEO CASSETTE OXIDE TAPE 20 MIN FOR 1/2-INCH VTR	150 PCS	
VIDEO CASSETTE METAL TAPE 20 MIN FOR 1/2-INCH VTR	75 PCS	
VIDEO CASSETTE METAL TAPE 60 MIN FOR 1/2-INCH VTR	25 PCS	
VIDEO CASSETTE TAPE 30 MIN FOR 3/4-INCH VTR	50 PCS	
VIDEO CASSETTE TAPE FOR HOME VIDEO	50 PCS	
AUDIO CASSETTE TAPE	50 PCS	
6MM AUDIO TAPE WITH 10-INCH REEL	50 PCS	
AUDIO SPLICING TAPE	1 SET	
1-INCH ALIGNMENT TAPE	1 PCS	
3/4-INCH ALIGNMENT TAPE	1 PC	
1/2-INCH REFERENCE TAPE (A)	2 PCS	
1/2-INCH REFERENCE TAPE (B)	2 PCS	
1/2-INCH REFERENCE TAPE (C)	2 PCS	
CLEANING TAPE	1 PC	
CLEANING TAPE FOR HOME VIDEO	2 PCS	

OTHERS (1/2)

DESCRIPTION	QTY	NOTE
21-INCH COLOR TV	16 SETS	
HOME VIDEO NTSC COLOR W/ACC	6 SETS	
MONITOR STAND	6 SETS	
SPEAKER SYSTEM	1 PAIR	
SPEAKER STAND FOR SPEAKER SYSTEM	1 PAIR	
INTEGRATED AMPLIFIER	1 SET	
4-CH AUDIO MIXER	1 SET	
DYNAMIC MICROPHONE	1 PC	
CABLE REEL FOR VIDEO AND AUDIO CABLE	5 SETS	
BNC CONNECTOR FOR 3C-2V/5C-2V	5 PACK	
INTERCONNECTION BNC MIDWAY CONNECTOR	2 PACK	
COAXIAL CABLE 100M FOR CCTV	5 ROLL	
AUDIO PLUG FEMALE(3 PIN)	50 PCS	
AUDIO PLUG MALE(3 PIN)	50 PCS	
OVER HEAD PROJECTOR WITH STAND TYPE SCREEN	3 SETS	
SPARE LAMP FOR OVER HEAD PROJECTOR	6 PCS	
WHITE STEEL BOAD (FIX3.ELEC2.MOVE3)	8 PCS	
WORD PROCESSER W/ACCESSORY	1 SET	
COPY MACHINE W/ACCESSORY	1 SET	
12 ELEMENTS VHF ANTENNA WITH ANTENNA POLE	2 PCS	
MIXING FILTER FOR RF 2 CHANNELS	1 SET	
RF BOOSTER FOR VHF/FM	1 SET	
RF SIGNAL DISTRIBUTOR	1 PC	

OTHERS (2/2)

DESCRIPTION	Q'TY	NOTE
RF SIGNAL DIRECTION COUPLER 1-BRANCH OUT	24 PCS	
F-TYPE CONNECTOR FOR 5C2V	3 PACK	
F-TYPE 75 OHM DUMMY PLUG	1 PACK	
PERSONAL COMPUTER	1 SET	
CRT DISPLAY FOR COMPUTER	1 SET	
PRINTER FOR COMPUTER	1 SET	
MOUSE FOR COMPUTER	1 SET	
PROGRAM SOFTWARE MS-DOS & WORD-PROCESSOR	3 SETS	

